

# 博士論文（要約）

論文題目 **プロテスタント宣教師による中国関連知識の構築**  
**——アヘン戦争以前の時期を中心に——**

氏名

**黄 イエレム**  
**HWANG Yerem**

## 目 次

図表一覧 .....	iv
英文名称の省略表記.....	v
序章 .....	1
1. 研究背景・問題意識——プロテスタント宣教師はどのようにして中国専門家になったのか... 1	
2. 19 世紀以前における中国情報の伝播——イエズス会士の役割 .....	5
3. 先行研究の達成点と問題点 .....	11
3.1 19 世紀プロテスタント宣教師に関する先行研究.....	11
3.2 19 世紀シノロジーに関する先行研究 .....	17
4. 本論文の課題 .....	20
5. 史料の性格について .....	22
第 1 章 インドにおけるマーシュマンによる儒教経典英訳事業 .....	28
はじめに .....	28
1. バプテスト派宣教師とフォート・ウィリアム・カレッジ .....	30
2. フォート・ウィリアム・カレッジにおける中国語教育の試み .....	35
3. セランポールにおける中国語教育 .....	38
4. 儒教経典英訳刊行の経緯 .....	41
小結 .....	48
第 2 章 モリソンとイギリス東インド会社——中国語学習工具書の刊行.....	50
はじめに .....	50
1. 中国でのモリソンの立場 .....	53
2. 広東商館の職員とモリソン.....	58
3. イギリス東インド会社の広東商館における中国語教育.....	63
3.1 モリソン雇用以前の中国語教育状況 .....	63
3.2 モリソンによる中国語教育 .....	70
4. モリソンによる中国語学習書の作成 .....	76
4.1 中国語文法書 ( <i>A Grammar of the Chinese Language</i> ) .....	77
4.2 中国語字典 ( <i>A Dictionary of the Chinese Language</i> ) .....	85
4.3 中国語会話集 ( <i>Dialogues and Detached Sentences in the Chinese Language</i> ) ...	90

4.4 中国の概観 ( <i>A View of China</i> ) .....	96
小結 .....	102
第 3 章 マラッカにおけるアングロ・チャイニーズ・カレッジの設立 .....	104
はじめに .....	104
1. 中国人向けの宣教拠点を探して.....	106
1.1 ミルンの東南アジア巡回訪問 .....	106
1.2 中国宣教拠点としてのマラッカ .....	112
2. マラッカにおける事業 .....	115
2.1 中国を中心とする宣教方針と小学校設立 .....	115
2.2 小学校設立に対するイギリス東インド会社関係者の協力 .....	119
3. 一般高等教育機関としてのアングロ・チャイニーズ・カレッジ .....	124
3.1 アングロ・チャイニーズ・カレッジの設立計画 .....	124
3.2 アングロ・チャイニーズ・カレッジの定礎 .....	128
3.3 アングロ・チャイニーズ・カレッジ設立当初の後援者 .....	132
4. カレッジの設立目的 .....	137
4.1 カレッジをめぐる対立 .....	137
4.1.1 カレッジ設立に関する宣教会との対立 .....	137
4.1.2 官話教育か福建語教育かをめぐる論争 .....	144
4.2 イギリス東インド会社の広東商館側の見解 .....	147
小結 .....	157
第 4 章 プロテスタント漢訳聖書の刊行 .....	160
はじめに .....	160
1. 東洋植民地におけるキリスト教布教の合法化.....	162
2. 英国聖書協会——東洋植民地における聖書翻訳事業の監督 .....	167
2.1 英国聖書協会の設立 .....	168
2.2 インド亜大陸における聖書協会の設立 .....	172
2.3 英国聖書協会の監督下の聖書漢訳事業 .....	179
3. インドでの聖書漢訳事業 .....	183
3.1 聖書漢訳および印刷の進展 .....	183
3.2 洋式活字による印刷と修正作業 .....	191
3.3 インドでの聖書漢訳事業に対する英国聖書協会の援助 .....	194
4. 中国・マラッカでの聖書漢訳事業 .....	199
4.1 聖書漢訳事業の進展と英国聖書協会の援助 .....	199

4.2 聖書漢訳事業の協力者 .....	212
4.3 漢訳聖書の頒布事業 .....	224
4.3.1 モリソンとミルンによる漢訳聖書の印刷 .....	224
4.3.2 広州とマカオにおける頒布事業 .....	229
4.3.3 中国以外の地域における頒布事業 .....	235
小結 .....	248
補論 広州とマラッカにおける聖書漢訳事業に対する英国聖書協会の援助 .....	250
第5章 『チャイニーズ・レポジトリー』の刊行 .....	255
はじめに .....	255
1. アメリカ人宣教師の中国派遣 .....	257
2. 『チャイニーズ・レポジトリー』刊行時期の広州状況 .....	264
2.1 自由貿易商人勢力の台頭.....	264
2.2 広州における英字新聞・雑誌の創刊 .....	266
2.3 広州の欧米人による協会設立 .....	272
3. 『チャイニーズ・レポジトリー』刊行の目的 .....	275
4. 『チャイニーズ・レポジトリー』の主要寄稿者 .....	285
小結 .....	291
結論 .....	293
1. アヘン戦争以前におけるプロテスタント宣教師の活動の意味 .....	293
2. アヘン戦争とプロテスタント宣教師 .....	297
3. 英国におけるアカデミック・シノロジーの二つの源流 .....	300
4. 今後の課題 .....	309
参考文献一覧 .....	310
付記 .....	335

## 図表一覧

図 1	J. Marshman, <i>The Works of Confucius</i> .....	46
図 2	モリソンの『通用漢言之法』とマーシュマンの『中国言法』 .....	84
図 3	R. Morrison, <i>A Dictionary of the Chinese Language</i> , Part 3 .....	89
図 4	R. Morrison, <i>Dialogues and Detached Sentences in the Chinese Language</i> .....	95
図 5	R. Morrison, <i>A View of China</i> .....	98
図 6	R. Morrison, <i>A View of China</i> .....	99
図 7	R. Morrison, <i>A View of China</i> .....	100
図 8	アングロ・チャイニーズ・カレッジの年次報告書 .....	131
図 9	英国聖書協会の 1805 年年次報告書 .....	169
図 10	モリソンと中国人協力者 .....	220
表 1	モリソンの年俸 .....	71
表 2	アングロ・チャイニーズ・カレッジ設立のための寄付者一覧(1818年10月刊).....	134
表 3	アングロ・チャイニーズ・カレッジ設立のための寄付者一覧(1819年～1820年刊)....	135
表 4	セランポール宣教師の聖書翻訳事業に対する補助金 .....	198
表 5	モリソンとミルンらによる聖書漢訳事業に対する英国聖書協会からの補助金.....	211
表 6	広州とマラッカでの聖書印刷部数 .....	225
表 7	バタヴィアでの聖書印刷部数 .....	227
表 8	東南アジアにおける中国人移民者数 .....	242
表 9	1830年代の広州における英字定期刊行物 .....	271
表 10	1830年代の広州の欧米人コミュニティにおける協会 .....	275
表 11	『チャイニーズ・レポジトリー』の印刷部数.....	282
表 12	『チャイニーズ・レポジトリー』の内容分類表 .....	284
表 13	『チャイニーズ・レポジトリー』の寄稿者 .....	287

## 博士論文(要約) 本文

本博士論文は、単行本の形で5年以内に刊行される予定及び特別な事由により、各章の要約を示すことで、全文の公表に代える。

## 序 章

18 世紀後半、イギリスが世界の覇権をねらって台頭し、また欧米における信仰復興運動によって宣教会が新たに設立されるのに伴い、19 世紀にかけてアジアにおけるプロテスタント宣教師の活動が盛んになった。

アヘン戦争に際しては、中国語能力や、中国についての知識を有していたプロテスタント宣教師は、イギリス当局者の通訳及びアドバイザーとしての役割を担った。宣教師は、外交のほかに翻訳、教育、医療、出版などの多様な事業に携わり、イギリスとアメリカのアカデミックな場においても初代中国学教授職は宣教師出身の学者が占めた。こうしてプロテスタント宣教師は、中国に関する知識と情報の構築において、大きな役割を果たしたといえる。

それでは、宣教師はどのようにして中国専門家になっていったのだろうか。本論文は、19 世紀初頭からアヘン戦争開戦以前の 1830 年代までの時期に焦点を当て、プロテスタント宣教師が、中国に関する知識や情報の基盤を築くようになった歴史的背景および経緯を解明することを目的とする。そのために、プロテスタント宣教師による重要な事業を時代順に取り上げ、その事業が可能になった背景と経緯を中心に論じる。

アヘン戦争以前の時期に遡り、プロテスタント宣教師の活躍の具体像について考察するのは、その時期から既に宣教師は中国専門家というに値する様々な研究を進めていたためである。本論文は、プロテスタント宣教師による事業を個人の業績として捉えている従来の研究とは異なり、19 世紀前半という時代において、宗教的活動にとどまらない宣教師の独特な役割を明らかにすることを目指す。さらに 19 世紀における英語圏のシノロジー形成まで視野に入れることにしたい。

## 第1章 インドにおけるマーシュマンによる儒教經典英訳事業

プロテスタント宣教師によって、19 世紀に初めて聖書全巻の漢訳および「四書五経」の英訳が完成に至った。初めての漢訳聖書は、ベンガルのセランポールで刊行されたマーシュマン (Joshua Marshman, 1768-1837)らによる『聖經』(1822 年)とマレー半島のマラッカで刊行されたモリソン (Robert Morrison, 1782-1834)らによる『神天聖書』(1823 年)である。儒教經典英訳事業としては、マーシュマンによる『論語』(1809 年)を始めとして、モリソンの『大学』(1812 年)、マーシュマンの『大学』(1814 年)、D. コリーの「四書」(1828 年)そして W. H. メドハーストによる『書経』(1846 年)があり、ついに J. レッグによって「四書五経」の全訳と注釈(1861-1885 年)が刊行された。

第1章においては、プロテスタント宣教師による初めての中国関連の学術的業績であるマーシュマンによる儒教經典英訳事業の経緯について考察する。宣教の当初においてなぜ儒教經典翻訳に努力したのだろうか。聖書漢訳を進めた宣教師は同時に儒教經典英訳事業にも関わっていた。こうした点に注目し、インドで事業が行われるようになった社会・政治的状況に焦点を当てながら分析すれば、インドでの儒教經典翻訳事業の背景や経緯が解明できるだろう。

こうした分析の結果、マーシュマンによる学術的成果は、インド亜大陸におけるイギリス東インド会社と緊密に関わっていたことが明らかになった。マーシュマンによる儒教經典英訳事業は、イギリス東インド会社の教育機関であるフォート・ウィリアム・カレッジ (Fort-William College)における中国語教育と聖書漢訳事業の計画を背景としていたのである。

インド亜大陸において、イギリス東インド会社は 18 世紀後半から統治機関として機能するようになり、公務担当の職員養成のため、カルカッタにフォート・ウィリアム・カレッジが 1800 年に設立された。カレッジでは、統治に必要な東洋諸言語の教育の実施とともに、英国国教会司祭である学長と副学長の主導のもとで、東洋諸言語への聖書翻訳事業も推進された。

イギリスは 1793 年、マカートニー使節団を北京へ派遣して中国との貿易の拡張を図ったことがあり、さらにベンガルのイギリス領は清の領域と近接していたため、商業・外交・政治的な面にお

いて重要であった中国語の教育も計画された。そのため、マカオ生まれのアルメニア人ラサル (Joannes Lassar) が教員として雇われ、中国語の教育を図ると同時に、聖書漢訳事業にも着手した。

しかし、中国語クラスの学生募集は失敗に終わり、また、1806年にインド総督と対立関係にあったイギリス東インド会社の取締役会によってカレッジの縮小命令が出された。さらに、同年には、宗教的要因からヴェールール反乱が起こり、新たな紛争の原因となりかねない東洋諸言語への聖書翻訳事業が中止されるに至った。こうした社会的・政治的状況のなか、中国語教師ラサルは、バプテスト派の宣教拠点のあるベンガルのセランプールで、カレッジ関係者の監督のもと、宣教師の子供を対象として中国語教育を行うと同時に、マーシュマンとともに聖書漢訳事業を進めるようになった。

儒教経典の英訳事業は、ヴェールール反乱を契機として聖書翻訳事業に対し批判的な声が高まっていた社会的雰囲気の中、新任のインド総督の後援を得る方案として、宣教とは距離を置いた一般的な学術活動として計画された。総督は、宣教活動を厳しく禁止しながらもイギリスにとって中国語教育が有用であることを認識し、セランプールにおける中国語教育と儒教経典英訳刊行を奨励した。

こうして 1809年に刊行されたマーシュマンによる『論語』訳は、主に中国語分析に焦点を当てた中国語学習書となり、それは当時のイギリス東インド会社政府の要望に応じた研究成果であった。聖書の漢訳を目指し中国語を学んでいたマーシュマン個人にとっても、『論語』訳を通して中国語と中国文化についての理解を深めることができ、聖書漢訳に役立つ事業であった。

## 第2章 モリソンとイギリス東インド会社——中国語学習工具書の刊行

モリソンとマーシュマンは中国語研究や聖書翻訳事業において協力しながらも、ライバル的關係にあった。聖書漢訳や儒教經典英訳そして中国語研究において、マーシュマンがモリソンに先んじているが、今日ではモリソンの業績が重んじられている。それは、モリソンが中国の地を踏んだ最初のプロテスタント宣教師であり、初めて漢英・英漢字典を完成させ、確固たる評価を得ているからであろう。

第2章においては、イギリス東インド会社の広東商館の職員を務めたモリソンの役割に焦点を当てながら、いかなる経緯で英漢・漢英字典などの中国語学習書を作成するようになったのかを考察する。そのため、まず宣教師として派遣されたモリソンが、宣教活動に否定的であったイギリス東インド会社の広東商館の職員として働くようになった背景や経緯を分析する。それとともに、広東商館における中国語教育の実態を考察した上で、モリソンによる中国語文法書(1815年)や字典(1815-1823年)、会話集(1816年)など中国語学習書についてそれぞれ分析する。

モリソンが中国で活動していた時期には、イギリス東インド会社は円満に貿易活動を行うことを第一に考え、宣教活動に反対していた。また、清朝のキリスト教布教の禁止とマカオにおけるポルトガルのカトリック司祭の妨害により、プロテスタント宣教師としての定住は不可能であった。一方で、イギリス東インド会社の広東商館は、マカートニー使節団の北京訪問をきっかけとして、中国語学習の必要性をより強く認識し、英語による中国語学習書を切望していた。

こうした状況のもと、宣教師として派遣され、中国語習得に専念していたモリソンは、通訳および中国語教師として広東商館に雇われ、当時第一の中国通であった広東商館の職員ストーンン(George T. Staunton)と商館の管貨人委員会の後援を受け、字典編纂などの中国語学習書作成を担当するようになる。他方、広東商館は、フォート・ウィリアム・カレッジのシステムと同じく、中国語学習者に対する業務の軽減や、通訳の仕事と中国語への翻訳物に対するボーナス支給など、中国語学習促進のための奨励策を施した。さらにイギリス東インド会社は、マカオに印刷施設を導入し、字典などの中国語学習書と、中国語を学ぶ職員による翻訳物の印刷を支援し、中国語

の習得に役立つ環境を整えた。

モリソンによる代表的な中国語学習工具書には文法書、字典、会話集、そして中国に関する基本知識を用語で学習できるようにした中国概説書(1817年)があった。それらは、平易な文章で書かれ、また広州やマカオでの商業や生活に関わる例文が多く含まれており、特に、東インド会社の広東商館の中国語学習者を想定して書かれたものであった。

こうして入門者向けの中国語学習工具書は、宣教師としての任務というよりは、イギリス東インド会社の後援のもと、広東商館における職務からもたらされた成果であった。中国に関する知識の習得においてまず必要なことは、中国語の習得である。文法書や字典、会話集などあらゆる中国語学習工具書を具備するようになったことは、中国に関連する情報や知識習得を容易にする道を拓いたと評価できる。

### 第3章 マラッカにおけるアングロ・チャイニーズ・カレッジの設立

イギリス東インド会社のフォート・ウィリアム・カレッジにて中国語教育の試みがあり、カレッジの後援のもと、バプテスト派宣教師の拠点であったセランポールで中国語教育が実施されたのは、第1章で考察した通りである。その後、中国語教育機関として設置されたのは、マラッカのアングロ・チャイニーズ・カレッジ(Anglo-Chinese College)であった。当時、広州やマカオでは、欧米人が中国語教師を雇用して中国語教育を受けることや中国語の印刷事業を行うことは違法とされていた。アングロ・チャイニーズ・カレッジは、欧米人が自由に中国語を学ぶことができる初めての専門教育機関であったことから、その歴史的意義は注目に値する。

カレッジに関するこれまでの研究は、イギリス人の中国関連知識の習得に有益であったという社会的・政治戦略的な観点よりは、教会学校の始まり、もしくは中国の近代教育の始まり、または東西文化交流といった観点から論じている。しかし、こうした見方はカレッジに対する現代的時点からの評価であり、19世紀初期の歴史的な文脈を看過している問題点がある。設立者として知られているモリソンは、広東商館で中国語教育と通訳を務めるイギリス東インド会社の職員であって、イギリス東インド会社との関連性に焦点を当て、設立の背景と経緯について分析する必要がある。

そこで、第3章においては、まずは、マラッカでのアングロ・チャイニーズ・カレッジ設立の背景を考察するため、モリソンと宣教師ミルン(William Milne, 1785-1822)が、マラッカを宣教基地に決めるに至った経緯を分析する。その上で、マラッカにおける小学校設立とともに、アングロ・チャイニーズ・カレッジが設立された過程、そして設立後援者について論じる。最後に、カレッジに対するロンドン宣教会および現地のイギリス東インド会社関係者の立場についてそれぞれ考察する。

こうした分析の結果、マラッカにおける教育機関設立において、イギリスの貿易ネットワークにつながる広州、ペナン、マラッカ、インドにおけるイギリス東インド会社関係者による積極的協力があったことが明らかになった。

中国では西洋人の居住や印刷、宣教活動が制限されていたため、中国以外の地域で中国宣教の拠点を探す必要があった。そのため、モリソンの協力者として派遣された宣教師ミルンが、

1814年にジャワとマラッカへの巡回訪問を行い、中国に近く、周辺地域の中国人に接することが容易であったマラッカを拠点に定めた。巡回訪問が可能であった背景は、当時、イギリスがマラッカを既に支配し、さらに1811年にジャワを獲得して以降、勢力を拡張させていた状況にあったことであり、また、広東商館の職員を始めとして、現地のイギリスの官僚が援助したためであった。

小学校の開設も、マラッカとペナン、インド亜大陸におけるイギリス東インド会社政府の官僚の支援のもとで実施された。それは、マラッカの統治に関わっていた現地のイギリス当局の後援を得ながら、宣教師が中国系住民の教育を担当したものであった。アングロ・チャイニーズ・カレッジも、イギリスのペナン政庁やマラッカの駐在官、広東商館の支援を受け、現地事業として設立された教育機関であった。イギリス東インド会社が商業的・政治的に中国語や中国に関する知識を必要としていた事情のもとで、中国関連の専門教育機関として設立されたものだったのである。

当初、中国人伝道師の養成機関ではなく、一般高等教育機関の設立をめざしたことは、当地のイギリス政庁関係者の支持を得る基盤となった。そして、モリソンをはじめ、特に中国との貿易に直接に関わっていた広東商館側が主導して設立資金を集めた。また、広東商館を含む現地の東インド会社関係者は、カレッジがイギリス東インド会社とイギリスにとって有益であると好意的に報告した。

東南アジアでのイギリスの勢力拡張による中国人移住民の統治、中国との貿易や外交における中国語と中国に関する高度な知識、およびその人材養成の必要性こそが、インド亜大陸からペナン、マラッカ、そして広州に至る地域のイギリス勢力が、カレッジの設立に協力した理由であった。支配者イギリス人の数が少ない植民地において、イギリス当局者と宣教師は互いを必要とする存在であって、東インド会社関係者は、カレッジの設立を支援した一方で、宣教師は教育実務を担当するようになったのである。これは、宣教師が、中国や周辺地域に関する知識や情報の獲得において先駆的な役割を果たすことになる道を開いたといえる。

## 第4章 プロテスタント漢訳聖書の刊行

ヨーロッパ人にとって最も難しい言語の一つとして知られていた中国語の聖書が、19世紀において初めて完成した。第3章までは、儒教経典英訳や中国語学習工具書の刊行、そしてアングロ・チャイニーズ・カレッジ設立といった非宗教的な事業を中心に考察したが、第4章ではプロテスタント宣教師にとって第一の任務とされた聖書漢訳事業という宗教的活動について分析する。

儒教経典の英訳、文法書や字典の編纂事業においては、イギリス東インド会社の許可および後援を必要としていたが、それは、聖書翻訳事業でも同様であった。インド亜大陸における東洋諸言語への聖書翻訳事業が、フォート・ウィリアム・カレッジというイギリス東インド会社政府機関の後援下で始まったことは、第1章において考察した通りである。

19世紀初期から始まった聖書漢訳事業の背景を考察するにあたり、まずはイギリスから東洋への宣教師派遣が合法化されるようになった経緯について解明する。東洋への宣教師派遣は合法的ではなかったため、マーシュマンはインド亜大陸におけるイギリス領ではなく、デンマーク領であったセランポールを宣教拠点と決めた。モリソンも、イギリス東インド会社からの許可証を得られず、アメリカを經由しアメリカ商船で中国に渡らなければならなかった。そこで、東洋への宣教師派遣の合法化について論じる必要がある。加えて、聖書の漢訳・印刷・頒布事業を長期間にわたり援助した英国聖書協会(British and Foreign Bible Society)は、いかなる機関であったのかについて分析する。その上で、19世紀前半、マーシュマンやモリソンらが、インドと、広州・マラッカにおいて、聖書漢訳事業をそれぞれ如何にして進めていったかを、印刷と頒布事業を含めて考察する。

漢訳聖書の完成が可能になった主な背景としては、イギリスにおけるイギリス東インド会社に対する1813年の法改定に関わっていることに注目すべきである。フォート・ウィリアム・カレッジで東洋諸言語の聖書翻訳事業を主導した副学長ブキャナン(Claudius Buchanan, 1766-1815)による一連の著書は、大きな反響を呼び起こし、インド亜大陸における英国国教会の設立とキリスト教布

教に関する問題が本格的に議論されるようになるきっかけとなった。同時に、英国国内における福音主義運動による強い要請があり、これらの動きのなか、イギリス東インド会社の特許権更新に当たる1813年の法改定に際して、東洋植民地への非国教徒の宣教師派遣が合法化されるようになり、聖書翻訳事業も活発になる道が開かれた。

フォート・ウィリアム・カレッジで東洋言語への聖書翻訳事業が推進されていた時期に当たる1804年には、英国においても英国聖書協会が設立された。当初、英国聖書協会の上層組織は、国教会主教と国教徒有力者からなり、その有力メンバーには元インド総督、ボンベイ知事、インド総督、東インド会社の役員といった東洋統治関係者が含まれていた。国教会の理念のもとで設立されたフォート・ウィリアム・カレッジの上層部と英国聖書協会は、協会設立以前から緊密な関係にあり、両機関は、インドにおける東洋言語の聖書翻訳事業について互いに議論しながら事業を推進した。1811年からは、フォート・ウィリアム・カレッジで成立したカルカッタの聖書協会をはじめとして、インド亜大陸における各地の聖書協会も、イギリス人現地有力者の主導のもとで相次いで設立された。こうして当時の東洋諸言語への聖書翻訳事業は、イギリス植民地政府関係者の監督下に置かれていたのである。

英国聖書協会がマーシュマンとモリソンの両者に援助するようになった経緯は以下の通りである。当初、聖書漢訳事業は、フォート・ウィリアム・カレッジにおいて、東洋諸言語の聖書翻訳事業の一つとして推進され、カレッジと聖書協会の監督と支援のもと、バプテスト派宣教師マーシュマンがカレッジの中国語教員として雇われていたラサールとともにセランポールで行っていた。中国語ができる人材が不足している状況のもとで、英国聖書協会は、中国におけるモリソンによる聖書漢訳事業に対しても援助することを決めた。こうした状況のなか、両者にはより完全な翻訳文を完成させるため、作業進展の状況や訳文を共有しながら協力して事業を進めることが求められた。聖書漢訳事業は、インドと中国・マラッカでそれぞれに進められたものの、実際には国教会の指導者と政治有力者らの監督と支援のもとで行われた一つの事業であったといえよう。

英国聖書協会の援助対象には漢訳聖書の頒布事業も含まれていて、マカオや広州においてモリソンやミルンらにより秘密裏に配布されはじめ、やがてマラッカ、ジャワおよびスマトラ、シンガポールなどの東南アジア宣教拠点を中心として、それらの周辺地域にも頒布された。1830年代に

入ると、中国の北部沿岸地域にまで頒布事業が試みられた。こうした事業は、宣教師が関連地域の事情について理解を深めてゆく機会でもあったといえる。

聖書漢訳事業は、宣教師や中国語教師、印刷工、頒布者など、多数の人材と多額の資金を要する大事業であり、19世紀における漢訳聖書の完成は、資金力、影響力、政治的・宗教的権威を持つ英国聖書協会が監督し、長期間にわたり援助したことではじめて可能になったのである。そして、中国語の知識を有していた非国教徒の宣教師は、聖書漢訳・印刷・頒布事業において、主要な人材としての役割を果たしていたのである。

## 第5章 『チャイニーズ・レポジトリー』の刊行

1830年代に入ると、中国における宣教はモリソン1人が担ったのではなく、ドイツ人 K. F. A. ギュツラフとともにアメリカ人宣教師が加わるようになった。これらの宣教師は多様な活動を展開し、定期刊行物の編集、医療および教育施設の設立、そして中国に関する著書の出版などの事業を行った。

第5章においては、こうした宣教師の活動のうち、中国関連の情報収集において最も重要な役割を果たした中国初の英文月刊誌である『チャイニーズ・レポジトリー』(*Chinese Repository*, 1832-1851)刊行の背景について論じる。

『チャイニーズ・レポジトリー』刊行の背景を解明するため、まず広州の欧米コミュニティにおける1830年代の変化に焦点を当て、後に編集者を務めることになるアメリカ人宣教師が派遣されるようになった経緯と、イギリスの自由貿易商人が大きな勢力として台頭するようになった経緯について分析する。こうした分析を経た上で、『チャイニーズ・レポジトリー』の内容と、アヘン戦争以前までの主要寄稿者についてそれぞれ考察する。

アメリカを経由して中国に到着したモリソンは、宣教初期からアメリカのキリスト教界との関係を形成し、アメリカ人宣教師の派遣を要望していた。その理由は、中国と紛争を起こしていたイギリスとは異なり、アメリカ人に対しては清朝官僚の監視が比較的緩かったからである。

こうした状況のもとで、1820年後半からアメリカ海外宣教会と協力関係にあったモリソンは、アメリカ人商人とキリスト教徒共同体を結成し、彼らとともに、アメリカ海外宣教会に対して宣教師の派遣を要請した。その結果、1830年からアメリカ人宣教師が派遣され、また印刷機もアメリカからもたらされた。さらに、イギリスの1833年の法改定によるイギリス東インド会社の対清独占貿易の廃止とともに、広州の欧米人コミュニティにおいて自由貿易商人が一大勢力として台頭するようになった。

こうした変化のなか、広州の欧米人コミュニティでは以下のような事業が活発となった。一つは、新聞・雑誌刊行事業である。中国との開かれた貿易を望んだ自由貿易商人が、商業的利益や政

治的意見を表明するために貿易新聞の刊行を後援し、『カントン・レジスター』をはじめとする定期刊行物が相次いで刊行された。こうした状況のもとで、『チャイニーズ・レポジトリー』が、アメリカのオリファント商会の支援を受けつつ広州のキリスト教徒商人と宣教師の協力のもとで発刊された。ほかに、有用知識普及会やモリソン教育協会、医療宣教協会といった団体が貿易商人の支援で結成されたが、これらの事業において宣教師は実務を担当していた。

以上の如く、1830年代には、広州の欧米人コミュニティで情報交換のネットワークが形成されていた。そして、宣教師と商人は各人の得意分野で記事を投稿し、『チャイニーズ・レポジトリー』を通じて、外交、商業、言語、宗教などあらゆる中国関連の情報や知識が体系的に集積されていた。

## 結 論

### 1. アヘン戦争以前におけるプロテスタント宣教師の活動の意味

以上、本論文では、19 世紀のプロテスタント宣教師が、いかなる経緯から中国関連の知識を構築するのに極めて重要な役割を果たしたのかについて解明するため、宣教師による主要な事業を取り上げ、その事業が可能になった背景を中心に論じた。

まずプロテスタント宣教師が活動しはじめた時代の背景を述べると以下の通りである。

19 世紀初頭からアヘン戦争の開戦に至るまでの時期は、イギリスがインド亜大陸を超え、東南アジアから中国へとその勢力を拡げていた時期に当たる。また、イギリス本国においては、信仰復興運動に伴い 18 世紀末からバプテスト派宣教会やロンドン宣教会などの宣教団体が設立され、非国教徒の宣教師が東洋植民地および貿易拠点に派遣されはじめた。当時、現地のイギリス東インド会社政府は、宣教活動に対しては否定的な態度であったが、中国語ができる人材が不足しているなか、宣教師を頼りにするに至った。

アヘン戦争の半世紀足らず前の 1793 年のマカートニー使節団派遣に際しては、中国語の通訳を担当できるイギリス人は一人もいなかったが、19 世紀に入り、非国教徒の宣教師によって翻訳、字典や文法書などの中国語学習書の編纂、教育機関の設立、学術誌刊行などの一連の事業が進められ、中国に関する情報の集積とともに、人材不足の状態が大きく変化していった。

宣教師は、聖書漢訳事業や宣教活動のために中国語や中国に関する知識を増やす必要を感じていたのに加え、現地イギリス人有力者からの後援と保護も不可欠であり、特に学術的活動を通して、現地当局との信頼関係を形成することができた。宣教師らは、現地のイギリス当局の必要に自ら応じた面があったのである。

宣教師が、情報収集と植民地建設の人材として用いられたのは、イギリスの中央政府の政策によるものではなく、東洋現地におけるイギリス人有力者の判断によるものである。19 世紀前半にお

けるプロテスタント宣教師による中国知識の集積・普及は、貿易拠点における中国情報の必要性に基づいて、現地のイギリス人有力者が宣教師に依拠したことに起因していたのである。

アヘン戦争以前におけるプロテスタント宣教師の活動の歴史的意義は以下のように整理できる。

宣教師は、中国知識の収集と体系化において開拓者的な役割を果たした。言語の習得は、相手国の思想、文化、習慣、歴史、政治、軍事、社会、民族性など多くの側面を把握する手段となる。インド亜大陸における植民地政策と知識形成の関係について論じた研究者コーン(Bernard S. Cohn)が述べるように、インドの征服は、知識の征服であり、言語についての知識は、インド人に命令しコミュニケーションをとり、さらに情報を収集する手段となった。中国に当てはめると、そのような言語の征服を通じた知識構築の基礎は、現地イギリスの当局が宣教師を活用することで築かれたのである。そして蓄積されてきた情報と知識により、イギリスは、アヘン戦争の開始時点において、既に有利な立場に置かれていたといえる。

## 2. アヘン戦争とプロテスタント宣教師

アヘン戦争の時期に、中国語や中国関連の知識を用いて活躍した宣教師は誰であったのかを整理してみよう。

モリソンの息子 J. R. モリソン(John Robert Morrison) は、イギリス政府の貿易監督官の通訳となり、アヘン戦争の際に、全権大使 H. ポッティンジャーに雇われて、南京条約の締結に大きく寄与した。ギョツラフは、イギリス貿易監督官の通訳として働き、アヘン戦争中には、英軍司令官の通訳と顧問となり、イギリス軍が定海と寧波を占領した際には、定海の知県と寧波の知府となり、南京条約の締結にあたって貢献した。J. R. モリソンの没後には、後任として香港総督の通訳および書記官を務めた。

英国聖書協会から東アジア地域の担当として派遣されていたレイ(George T. Lay) はアヘン戦争の際に通訳の一員となり、アヘン戦争の後には広州の初代領事となり、その後、福州や廈門で領事を務めた。息子 H. N. レイ(Horatio Nelson Lay)も、第2次アヘン戦争(アロー戦争)の際に、通訳として活動し天津条約(1858年)の締結に寄与した。

ロンドン宣教会の W. H. メドハーストは、宣教地ジャワから離れ、イギリス全権大使を助けて南京条約の締結に一役買い、後には、上海のイギリス領事の顧問としても働いた。同名の息子メドハーストもアヘン戦争の際に中国語担当の書記官を務め、その後、福州領事をはじめとして、上海、杭州、漢口で領事を務めた。

マラッカで活動した宣教師ミルンの息子 W. C. ミルン(William Charles Milne)は、1858年に福州の領事館で通訳を務め、1861年に北京にイギリス公使館が設けられると、中国語副使に任命され、公使館の通訳見習生の教育を担当した。

以上の例のように、イギリスと中国との初期の外交関係において、プロテスタント宣教師やその息子が大きく関わっていた。

### 3. 英国におけるアカデミック・シノロジーの二つの源流

最後に、イギリスの学術界におけるシノロジー成立について概観し、知識構築において、プロテスタント宣教師が大きく寄与したことを確認する。

当初、イギリスの大学で中国学が成立する以前、1825年に東洋言語の教育機関としてラングウェイジ・インスティテューション(Language Institution)が設立された。当時、一時帰国していたモリソンがその設立に関わり中国語教育を担当した。こうした試みは、後に英国の大学でも中国学が開講される出発点となったといえる。

その後、中国学を開設したのは、ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン(University College, London)であり、宣教師出身のキッド(Samuel Kidd)が、1837年に就任し、5年間務めた。

ついで、中国学が開設されたのは、1829年に設立された国教徒の大学であるキングス・カレッジ・ロンドン(King's College, London)である。香港政庁の公務員であったフィアロン(Samuel Turner Fearon)が1847年に初代中国学教授となり、1852年まで務めた。後任は、香港に設立されたイギリス国教会の聖パウロ書院の教員であったサマーズ(James Summers)が担当した。1873年からは、領事を務めたことがあるダグラス(Robert Kennaway Douglas)が1905年まで在任した。

一方、キッドの後、長らく空席となっていたユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンでは、中国人齊玉堂が1860年に中国学教授として就任し1年間務めた。その後、1873年になって外交業務から引退していたホールト(Henry F. Holt)が就任した。1877年からは、多年にわたり英国海軍のチャプレンを務めた英国国教会の牧師ビール(Samuel Beal)がその地位を引き継いだ。

こうして1820年代に設立された新しい二つの大学に中国学が開講されたが、設立当初は、宣教、または外交の分野で働く人材養成という目的が大きかった。

そしてついにオックスフォード大学とケンブリッジ大学においても中国学が開設された。アングロ・チャイニーズ・カレッジの校長を務め、香港で儒教経典(「四書五経」)の英訳と注釈を刊行したロンドン宣教会出身のレッグ(James Legge)が、1876年にオックスフォード大学の初代教授に就任し、1897年まで在任した。ケンブリッジ大学では、中国で数十年間働いた外交官のウェイド(Thomas F. Wade)が1888年に初代中国学教授になり、その地位は、1897年に、やはり駐清外交官出身のジャイルズ(Herbert A. Giles)に引き継がれた。

上記のようにイギリスの伝統的な二つの大学で、中国現地で働いたことがある宣教師出身の学者と外交官出身の学者によってそれぞれ中国学が設けられた。このようにイギリスには二つのシノロジーの源流があるが、アヘン戦争以前から始まるプロテスタント宣教師による研究成果が、現地のイギリス官僚による中国語や中国研究の基盤になったと理解すべきである。

## 参考文献一覧

### 史料

#### 1. バプテスト派宣教会に関するもの

##### 宣教雑誌及び年次報告書

*Periodical Accounts relative to the Baptist Missionary Society*, 1794–1818 (Vol. 1, 1810–Vol. 6, 1817).

*The Annual Report of the Committee of the Baptist Missionary Society, addressed to the General Meeting held at Cambridge, on Thursday, Oct. 7th, 1819; Being a Continuation of the Periodical Accounts Relative to the Said Society*, Bristol: J. G. Fuller, 1819.

*The Annual Report of the Committee of the Baptist Missionary Society, addressed to the General Meeting held at Queen Street Chapel, on Thursday, June 22nd, 1820*, London: J. Haddon, 1820.

*The Annual Report of the Committee of the Baptist Missionary Society, addressed to the General Meeting held at Spa Fields Chapel, on Thursday, Jun. 21st, 1821; being a continuation of the Periodical Accounts relative to the said Society*, London: J. Haddon, 1821.

*The Annual Report of the Committee of the Baptist Missionary Society, addressed to the General Meeting held at, Great Queens Street Chapel, on Thursday, June 20th, 1822*, London: J. Haddon, 1822.

*The Annual Report of the Committee of the Baptist Missionary Society, addressed to the General Meeting Held at Great Queen Street Chapel, on Thursday, Jun. 19th, 1823*, London: J. Haddon, 1823.

*The Annual Report of the Baptist Missionary Society for the Year 1824*, London: John Offor, 1824.

*The Annual Report of the Baptist Missionary Society for the Year 1825*, London: J. Haddon, 1825.

##### 聖書翻訳事業のメモワール

*Brief Narrative of the Baptist Mission in India including an Account of Translations of the Scriptures into the Various Languages with an Appendix, bringing the Narrative down to the Year*, Boston: Lincoln and Edmands, 1811.

*A Memoir of the Serampore Translations for 1813: To Which is Added, an Extract of a Letter from Dr. Marshman to Dr. Ryland, Concerning the Chinese*, Kettering: J. G. Fuller, 1815.

*Memoir Relative to the Progress of the Translation of the Sacred Scriptures, in the Year 1815*, Serampore: The Mission Press, 1816.

*Seventh Memoir Respecting the Translations of the Brethren at Serampore*, Serampore: The Mission Press, 1820.

*Tenth Memoir Respecting the Transitions of the Sacred Scriptures into the Oriental Languages, by the Serampore Brethren: with a Brief Review of their Various Editions from the Commencement in the Spring of 1794*, Edinburgh: A. Balfour and co., 1834.

“The First Serampore Memoir, 1808”, *Transactions of the Baptist Historical Society*, Vol.5, 1917.

## 2. ロンドン宣教会に関するもの

**Council for World Mission Archives 1775–1940** / School of Oriental and African Studies, London (マイクروفイルム、東京大学東洋文化研究所所蔵)

Council for World Mission Archives, South China, Journals, 1807–1842.

Council for World Mission Archives, South China, Incoming Letters, 1803–1927.

Council for World Mission Archives, General, Outgoing letters, 1822–1854.

Council for World Mission Archives, General, Personals.

### ロンドン宣教会の年次報告書

*The Report of the Directors to the Twenty-First General Meeting of the Missionary Society, on Thursday, May 11, 1815*, London: J. Dennett, 1815.

*The Report of the Directors to the Twenty-Second General Meeting of the Missionary Society on the Thursday, May 10, 1816*, London: S. McDowall, 1816.

*The Report of the Directors to the Twenty-Third General Meeting of the Missionary Society in London, on Thursday, May 15, 1817*, London, 1817.

*The Report of The Directors to the Twenty-Fourth General Meeting of the Missionary Society Usually Called the London Missionary Society on the Thursday, May 14, 1818*, London: J. Dennett, 1818.

*The Report of the Directors to the Twenty-Fifth General Meeting of the Missionary Society, Usually Called the Missionary Society, on Thursday, May 13, 1819*, London: Dennett, 1819.

*The Report of the Directors to the Twenty-Seventh General Meeting of the Missionary Society, Usually Called the London Missionary Society on Thursday, May 10, 1821*, London: Dennett, 1821.

*The Report of the Directors to the Thirty-Third General Meeting of the Missionary Society, Usually Called the London Missionary Society on Thursday, May 10, 1827*, London, 1827.

*The Report of the Directors to The Fortieth General Meeting of the Missionary Society, Usually Called the London Missionary Society on Thursday, May 15, 1834*, London, 1834.

*The Report of the Directors to the Forty-First General Meeting of the Missionary Society, Usually Called the London Missionary Society on Thursday, May 12, 1835*, London, 1835.

*The Report of The Directors to the Forty-Second General Meeting of the Missionary Society, Usually Called the London Missionary Society on Thursday, May 12, 1836*, London, 1836.

### 宣教雑誌

*The Evangelical Magazine and Missionary Chronicle*, London, 1793–1904.

*Missionary Sketches: for the Use of the Weekly and Monthly Contributors to the Missionary Society*,  
London, 1818–1865.

### アングロ・チャイニーズ・カレッジの年次報告書

*To the Public, Concerning the Anglo Chinese College*, Malacca: The Mission Press, 1823.

*The Second Annual Report of the Anglo-Chinese College*, Malacca, 1824.

*Report of the Anglo-Chinese College and Chinese Mission at Malacca*, Malacca, 1825.

*The Fourth Annual Report of the Anglo-Chinese College*, Malacca, 1826.

*The Fifth Annual Report of the Anglo Chinese College with An Appendix*, Malacca, 1827.

*Report of the Eleventh Year of the Anglo-Chinese College*, Malacca, 1829.

*A Report of Malacca Mission-Station and the Anglo-Chinese College, from Jan. 1830 to Jun. 1831*,  
Malacca, 1831.

*The Tenth Report of the Anglo-Chinese College, for the Year 1834*, Malacca, 1834.

*The Eleventh Report of the Anglo-Chinese College for the Year 1835*, Malacca, 1836.

### 3. 英国聖書協会の年次報告書

*Reports of the British and Foreign Bible Society with Extracts of Correspondence &c. Vol. the 1st for the  
Years 1805 to 1810, inclusives*, London: J. Tilling, 1810.

*Reports of the British and Foreign Bible Society, with Extracts of Correspondence &c. Vol. the 2nd, 1811,  
1812 and 1813*, London: J. Tilling, 1813.

*Report of the British and Foreign Bible Society with Extracts of Correspondence, Vol. the 3rd for the Years  
1814 and 1815*, London: J. Tilling, 1815.

*The Twelfth Report of British and Foreign Bible Society; 1816, with an Appendix, containing Extracts of  
Correspondence*, London: Tilling and Hughes, 1816.

*The Thirteenth Report of the British and Foreign Bible Society; 1817 with an Appendix and a List of  
Subscribers and Benefactors*, London: Tilling and Hughes, 1817.

*Reports of the British and Foreign Bible Society ; with Extracts of the Correspondence, & c. Vol. the 5th  
for the Years 1818 and 1819*, London: Tilling and Hughes, 1820.

*The Fifteenth Report of the British and Foreign Bible Society; with an Appendix, containing Extracts of  
Correspondence*, London: Tilling and Hughes, 1819.

*Reports of the British and Foreign Bible Society ; with Extracts of the Correspondence, & c. Vol. the 6<sup>th</sup>  
for the Years 1820 and 1821*, London: J. Tilling, 1822.

*Reports of the British and Foreign Bible Society; with Extracts of Correspondence &c., Vol. the 7th for the Years, 1822, 1823 and 1824*, London: J. S. Hughes, 1824.

*The Twenty-First Report of the British and Foreign Bible Society; 1825. with An Appendix and A List of the Subscribers and Benefactors*, London: Augustus Applegath, 1825.

*The Twenty-Second Report of the British and Foreign Bible Society; 1826. with An Appendix and A List of the Subscribers and Benefactors*, London: J. Moyes, 1826.

*The Twenty-Third Report of the British and Foreign Bible Society; 1827. with An Appendix and A List of the Subscribers and Benefactors*, London: J. Moyes, 1827.

*Reports of the British and Foreign Bible Society; with Extracts of the Correspondence, & c. Vol. the 9<sup>th</sup> for the Years 1828, 1829 and 1830*, London: Printed for the Society.

*Reports of the British and Foreign Bible Society; with Extracts of the Correspondence, & c. Vol. the 10<sup>th</sup> for the Years 1831, 1832 and 1833*, London: Printed for the Society.

*Reports of the British and Foreign Bible Society; with Extracts of the Correspondence, & c. Vol. the 11<sup>th</sup> for the Years 1834, 1835, and 1836*, London: Printed for the Society.

*The Thirty-Third Report of the British and Foreign Bible Society; 1837. with An Appendix and A List of the Subscribers and Benefactors*, London: R. Clay, 1837.

#### 4. その他の宣教雑誌

*The Christian Spectator*, New Haven, 1819–1828.

*The Panoplist and Missionary Magazine United*, Boston, 1808–1812.

*The Panoplist and Missionary Magazine*, Boston, 1812–1817.

*The Missionary Herald*, Boston, 1821–1934.

#### 5. 一般の雑誌

*The Quarterly Review*, London, 1809–1967.

*The Asiatic Journal and Monthly Register for British and Foreign India, China, and Australia*, London, 1816–1845.

*The Journal of the Royal Asiatic Society of Great Britain and Ireland*, London, 1834–1990.

#### 6. 中国関連の定期刊行物

*The Indo-Chinese Gleaner*, Malacca, 1817–1822.

*The Canton Miscellany*, Canton or Macao, 1831.

*The Chinese Repository*, Canton/Macao/Hong Kong, 1832–1851.

*The Canton Register*, Canton/Macao, 1827–1843.

*The Canton Press*, Canton/Macao, 1835–1844.

## 7. 公文書(イギリス議会文書)

*East India Accounts: Viz. Annual Account Made Up to 1st Day of May 1814–1st Day of May 1834*, House of Commons, 1834.

*Final Debates on the Renewal and Acceptance of the East-India Company's Charter at Several Courts of Proprietors of East-India Stock, on the 9th, 13th, 16th and 21st July, 1813: With an Appendix: Containing an Abstract of the Bill as Passed by the Honourable House of Commons for Continuing in the East India Company the Possession of the British Territories in India, together with Certain Exclusive Privileges, etc.*, London: Black, Parry and Co., 1813.

*Report from the Select Committee of The House of Commons of the Affairs of the East-India Company. China Trade*, London: Parbury, Allen, and Co., and J. M. Richardson, 1830.

*To Public, Appendix to the Report from The Select Committee of The House of Commons on The Affairs of The East-India Company, 16th August 1832 and Minutes*, London: J. L. Cox and Son, 1833.

## 8. その他の欧文史料

Auber, Peter, *An Analysis of the Constitution of the East-Company and of the Law Passed by Parliament for the Government of their Affair, at Home and Abroad*, London: Kingsbury, Parbury, and Allen, 1826.

Auber, Peter, *China and Outline of Its Government, Laws and Policy: and of the British and Foreign Embassies to, and Intercourse with that Empire*, London: Parbury, Allen, and Co., 1834.

Abeel, David, *Journal of a Residence in China and the Neighbouring Countries from 1830 to 1833*, London: James Nisbet and Co., 1835.

Bagster, Samuel, *The Bible of Every Land: A History of the Sacred Scriptures in Every Language and Dialect into which Translations Have Been Made*, London: Samuel Bagster and Sons, 1848.

Ball, Samuel, *An Account of the Cultivation and Manufacture of Tea in China: Derived from Personal Observations during an Official Residence in that Country from 1804 to 1826*, London: Longman, Brown, Green & Longmans, 1848.

Baptist Union, *Proceedings of the Committee of the British and Foreign Bible Society relative to a Memorial Presented to them by the Committee of the Baptist Union*, London: Richard Clay, 1840.

Bars, Charles Webb Le, M. A., *The Life of The Right Reverend Thomas Fanshaw Middleton, D. d. Late Lord Bishop of Calcutta*, 2 vols., London: C. J. G. & F. Rivington, 1831.

Bayeri, Theophili Sigefridi, *Museum Sinicum, in quo Sinicae Linguae et Litteratura ratio Explicator*, Petropoli, Ex Typographia Academiae Imperatoriae Anno, 1730.

- Begbie, P. J., *The Malayan Peninsula Embracing the History, Manners and Customs of the Inhabitants, Politics and Holland History etc., from its Earliest Records*, Madras: The Vepery Mission Press, 1834,
- Beighton, John T., “The Battahs of Sumatra. A New Chapter in Missionary Annals, IV-Signal Progress,” *Sunday at Home* No. 1845 (September 7th 1889), pp. 570–573 ([http://www.victorian.sunday.org/pdf/sunday-at-home/1889/articles/1889\\_570.pdf](http://www.victorian.sunday.org/pdf/sunday-at-home/1889/articles/1889_570.pdf)).
- Beal, Samuel, *Si-Yu-Ki: Buddhist Records of the Western World, by Hiuen Tsiang*, 2 vols., London: Trübner & Co., 1884.
- Branner, David Prager, “The Linguistic Ideas of Edward Harper Parker”, *Journal of the American Oriental Society*, Vol. 119, No. 1 (1999), pp. 12–34.
- Bridgman, E. C., & Williams, S. W., *General Index of Subjects Contained in the Twenty Volumes of the Chinese Repository with an Arranged List of the Article*, 1851 (Reprinted, Tokyo: Maruzen, date of publication not identified)
- Bridgman, Elija C., “Chinese Version of the Bible”, *Chinese Repository*, Vol. 4, No. 6, 1835, pp. 249–260.
- Bridgman, Eliza J. Gillett (ed.), *The Pioneer of American Missions in China: The Life and Labors of Elijah Coleman Bridgman*, New York: Anson D. F. Randolph, 1864.
- Browne, George (comp.), *The British and Foreign Bible Society, From its Institution in 1804 to the close of its Jubilee in 1854*, Vol. 2, London: The Society’s House, 1859.
- Buchanan, Claudius, *Memoir of the Expediency of an Ecclesiastical Establishment for British India: both as the Means of Perpetuating the Christian Religion among our own Countrymen, and as a Foundation for the Ultimate Civilization of the Natives*, London: T. Cadell and W. Davies, 1805.
- Buchanan, Claudius, *Colonial Ecclesiastical Establishment: A Brief View of the State of the Colonies of Great Britian and Her Asiastic Empire in Respect to Religious Instruction. To which is added, A Sketch of Ecclesiastical Establishment of British India*, London: Cadell and Davies, 1813.
- Buchanan, Claudius, *Two Discourses and a Sermon to which added Christian Researches in Asia*, Boston: Samuel T. Amstrong, 1811 (reprinted).
- Buchanan, Claudius, *Christian Researches in Asia: with Notices of the Translation of the Scriptures into the Oriental Languages*, Cambridge: John Smith, The University Press, 1811.
- Buchanan, Claudius, *Christian Researches in Asia: with Notices of the Scriptures into the Oriental Languages, to which is added, Rev. Melville Horne’s Sermon, preached in London, June 4, 1811*, Boston: Samuel T. Amstrong, 1811.
- Buchanan, Claudius, *The Works of the Rev. Claudius Buchanan L. L. D.*, Baltimore: Neal and Wills, 1812.
- Buchanan, Claudius, *An Apology for Promoting Christianity in India: Containing Two Letters Addressed to the Honourable the East-India Company Concerning the Idol Juggernaut, and a Memorial, presented to the Bengal Government in 1807, in Defence of The Christian Mission in India*, London: T. Cadell

- and W. Davies, 1813.
- Buchanan, Claudius, *Apology for Promoting Christianity in India*, Boston: Nathaniel Wills, 1814.
- Calcutta Auxiliary Bible Society, *Contributions Towards A History of Biblical Translations in India*, Calcutta: J. Thomas, Baptist Mission Press, 1854.
- “Catholic Churches in India”, *The Bengal Catholic Herald*, Vol. 2, No. 1 (Jan. 1842), Calcutta: P. S. D’Rozario and Co., 1842, pp. 2–3.
- Candlin, George T., “A History of Chinese Literature”, *The Monist*, Vol. 11, No. 4 (July, 1901), pp. 616–627.
- Chalmers, John, “Sketch of The Canton Protestant Mission: The London Missionary Society’s Mission in Canton”, *The Chinese Recorder and Missionary Journal*, Vol. 7, No. 3, 1876, pp. 174–203.
- Collie, David, *The Chinese Classical Work Commonly Called the Four Books*, 2 vols., Malacca: Mission Press, 1828.
- Cotton, Henry, *A Typographical Gazetteer*, Oxford: Oxford University Press, 1831.
- Davis, John F., *A Commercial Vocabulary, Containing Chinese Words and Phrases Peculiar to Canton and Macao and to the Trade of Those Places, Together with the Titles and Addresses of All the Officers of Government, Hong Merchants, &c. &c.*, Macao: East Asia Co. Press. 1824.
- Davis, John F., *The Chinese: A General Description of the Empire of China and Its Inhabitants*, 2 vols., London: Charles Knight, 1836.
- Douglas, Robert Kennaway, *The Language and Literature of China: Two Lectures Delivered at the Royal Institution of Great Britain in May and June*, London: Trübner & co. 1875.
- Edkins, Joseph, *The Religious Condition of the Chinese: with Observation on the Prospects of Christian Amongst That People*, London: Routledge, Warnes, & Routledge, 1859.
- Edkins, Joseph, *Religion in China: containing a Brief account of the Three Religions of the Chinese, with Observation on the Prospects of Christian Amongst That People*, London: Trübner & Co., 1878.
- Edwards, B. B., *The Biblical Repository and Quarterly Observer*, Vol. 17, Nos. 21, 22, Andover: Gould and Newman, 1836.
- Elizabeth, Emma Eleanor (ed.), *Lord Minto in India: Life and Letter of Gilbert Elliot, First Earl of Minto from 1807 to 1814 while Governor-General of India*, London: Longmans, Green and Co., 1880.
- Fourmont, Étienne, *Linguae Sinarum Mandarinicae Hieroglyphicae Grammatica Duplex*, Lutetia Parisorum, 1742.
- Fraser, William, *Elphinstone Family Book of the Lords Elphinstone, Balmerino and Coupar*, Vol. 2, Edinburgh, 1897.
- General Conference of Foreign Missions, *Proceeding of the General Conference on Foreign Missions Held at the Conference Hall, in Mildmay Park, London, in October, 1878, Edited by the Secretaries to*

- the Conference*, London: John F. Shaw & Co., 1879.
- Guignes, Joseph de, *Dictionnaire Chinois, Francais et Latin* (『漢字四訳』), Paris: Imprimerie impériale, 1813.
- Gutzlaff, Charles, *A Sketch of Chinese History, Ancient and Modern: Comprising A Retrospect of the Foreign Intercourse and Trade with China*, 2 vols., London: Smith, Elder and Co., 1834.
- Gutzlaff, Charles, *China Opened; Or, A Display of the Topography, History, Customs, Manners, Arts, Manufactures, Commerce, Literature, Religion, Jurisprudence, etc. of the Chinese Empire*, 2 vols., London: Smith, Elder & Co., 1838.
- Gützlaff, K. F. A., *The Journal of Three Voyages Along the Coast of China in 1831, 1832, 1833 with Notices of Siam, Corea, Loo Choo Island*, London: F. Westley and A. H. Davis, 1834.
- Hager, Joseph, *An Explanation of the Elementary Characters of Chinese with an Analysis of Their Ancient Symbols and Hieroglyphs*, London: T. Bensley, 1801.
- Hervey, Winfred, *The Story of Baptist Missions in Foreign Lands*, St. Louis: Chancy R. Barns, 1884.
- Hunter, William C., *Bits of Old China*, London: K. Paul, Trench, & Company, 1885.
- Ingris, Robert, “Notices of Modern China: The Influence of the Foreign Commerce Considered, first in Connection with European Nations, and then with those Conterminous with this Empire”, *Chinese Repository*, Vol. 5, No. 5 (Sep. 1836), pp. 202–212.
- “Java”, *Encyclopaedia Britannica; Or a Dictionary of Arts, Sciences, and Miscellaneous Literature*, Vol. 11 (4<sup>th</sup> ed.), Edinburgh: Andres Bell, 1810, pp. 45–47.
- Jones, William, “On the Second Classical Books of the Chinese”, *Asiatic Researches; or Transactions of the Society Instituted in Bengal, for Inquiring into the History and Antiquities, the Arts, Sciences, and Literature of Asia*, Vol. 2, London: Vernor and Hood, 1799, pp. 195–203.
- Jones, Williams, *Institutes of Hindu Law: or, the Ordinances of Menu, According to the Gloss of Cullūca. Comprising the Indian System of Duties, Religious and Civil / Verbally Translated from the Original Sanskrit. With a Preface, by Sir William Jones*, Calcutta: by Order of the Government, 1796. (repr. London: J. Sewell and J. Debrett, 1796).
- Kidd, Samuel, Kidd, *China, or, Illustrations of the Symbols, Philosophy, Antiquities, Customs, Superstitions, Law, Government, Education and Literature of the Chinese*, London: Taylor & Walton, 1841.
- Kidd, Samuel, “Critical Notices of Dr. Morrison’s Literary Labours”, E. A. Morrison, *Memoirs of The Life and Labours of Robert Morrison*, D. D., Vol. 2, Appendix, pp. 1–97.
- Lay, G. T., *Trade with China: A Letter Addressed to the British Public on Some of the Advantages that would Result from an Occupations of the Bonin Islands*, London: Royston & Brown, 1837.

- Lay, G. T., *The Chinese as They are: Their Moral, Social, and Literary Character. A New Analysis of the Language; with Succinct Views of Their Principal Arts and Sciences*, London: W. Ball & Company, 1841.
- Leifchild, John, *A Memoir of the late Rev. Joseph Hughes, A.M.*, London: Thomas Ward and Co., 1835.
- Legge, James, *The Chinese Classics*, 5 vols., Hong Kong: At the Author's, London: Trübner, 1861–1872.
- Legge, James, *The Sacred Books of China: The Texts of Confucianism*, F. M. Müller (ed.), *The Sacred Books of the East*, Vol. 3 & 16, Vol. 27 & 28, Oxford: Clarendon Press, 1879, 1885.
- Lindsay, Hugh. H., *Report of Proceeding on a Voyage to the Northern Ports China in the Ship Lord Amherst*, London: B. Fellowes, 1833.
- Marjoribanks, Charles, *Letter to the Right Hon. Charles Grant, President of the Board of the Control, on the Present State of British Intercourse with China*, London: J. Hat hard and Son, 1833.
- Markham, Clements R., *Narratives of the Mission of George Bogle to Tibet, and of the Journey of Thomas Manning to Lhasa*, London: Trübner and Co., 1876.
- Marshman, John Clark, *The Life and Times of Carey, Marshman, and Ward*, 2 vols., London: Longman, Brown, Green, Longmans, & Roberts, 1859.
- Marshman, John Clark, *The Life and Labours of Carey, Marshman, and Ward, The Serampore Missionaries*, London: Alexander Strahan & Co., 1864.
- Marshman, Joshua, *The Works of Confucius, Containing the Original Text, with a Translation Vol. 1, to which is prefixed a Dissertation on the Chinese Language and Character*, Serampore: Mission Press, 1809.
- Marshman, Joshua, *Elements of Chinese Grammar, with a Preliminary Dissertation on the Characters and the Colloquial Medium of the Chinese and an Appendix Containing the Ta-Hyoh of Confucius*, Serampore: Missions Press, 1814.
- Marshman, Joshua, *A Memoir of the Serampore Translations for 1813: To which is Added, An Extract of a Letter from Dr. Marshman to Dr. Ryland, Concerning the Chinese*, Kettring: J. G. Fuller, 1815.
- Marsden, William, F.R.S &C., *A Catalogue of Books and Manuscripts collected with a View to The General Comparison of Languages, and to the Study of Oriental Literature*, London: J. L. Cox, 1827.
- Macaulay, Zachary (ed.), "Religious Intelligence", *The Christian Observer Conducted by the Members of Established Church, for the Year 1805 being the Fourth Volume*, No.12, (Dec. 1805), London: C. Whittingham, 1805, p.773.
- Medhurst, Walter Henry, *China: Its State and Prospects: with Especial Reference to the Spread of the Gospel containing Allusions to the Antiquity, Extent, Population, Civilization, Literature, Religion of the Chinese*, London: John Snow, 1838.

- Medhurst, Walter Henry, *Ancient China. The Shoo King, or The Historical Classic*, Shanghai: Mission Press, 1846.
- Miles, James Samuel, *Alphabetical List of the Honourable East India Company's Bengal Civil Servants, from the Year 1780, to the Year 1838*, London: Longman, Orme, Brown, and Co., 1839.
- Milne, William, *A Retrospect of the First Ten Years of the Protestant Mission to China: Now, in Connection with the Malay, Denominated the Ultra-Ganges Missions: Accompanied with Miscellaneous Remarks on the Literature, History, and Mythology of China &c.*, Malacca: The Anglo-Chinese Press, 1820.
- Montgomery, James(comp.), *Journal of Voyages and Travels by the Rev. Daniel Tyerman and George Bennet, Esq. Deputed from the London Missionary Society to Visit Their Various Stations in the South Sea Islands, China, India, & c. Between the Years 1821 and 1829*, Vol. 3, Boston: Crocker and Brewster, 1832,
- Morrison, E. A., *Memoirs of The Life and Labours of Robert Morrison, D. D.*, 2 vols., London: Longman, Orme, Brown, Green, And Longmans, 1839.
- Morrison, John, *The Fathers and Founders of the London Missionary Society: A Jubilee Memorial including a Sketch of the Origin and Progress of the Institution*, London: Fisher, Son, & Co., 1844.
- Morrison, Robert, *Horae Sinicae, Translations from the Popular literature of the Chinese*, London: C. Stower, 1812.
- Morrison, Robert, *A Grammer of the Chinese language (『通用漢言之法』)*, Serampore: The Mission Press, 1815.
- Morrison, Robert, *A Dictionary of the Chinese Language in Three Parts*, Macao: The Honorable East India Company's Press, 1815–1823.
- Morrison, Robert, *Dialogue and Detached Sentences in the Chinese Language; with a Free and Verbal Translation in China*, Macao: The East India Company's Press, 1816.
- Morrison, Robert, *A View of China for Philological Purposes: Containing a Sketch of Chinese Chronology, Geography, Government, Religion & Customs, designed for the Use of Persons who Study the Chinese Language*, London: Black, Parbury and Allen, 1817.
- Morrison, Robert, *Memoirs of the Rev. William Milne, D. D. Late Missionary to China, and Principal of the Anglo-Chinese College: Compiled from Documents Written by the Deceased: To Which Are Added Occasional Remarks*, Malacca: The Mission Press, 1824.
- Morrison, Robert, *Vocabulary of the Canton dialect(『廣東省土話字彙』)*, Macao: The East India Company's Press, 1828.
- Morrison, Robert & Davis, John Francis, *Translations from the Original Chinese with Notes*, Canton: The Honourable East India Company's Press, P. P. Thoms, 1815.
- Morris, Henry, *The Life of Charles Grant: Sometime Member of Parliament for Inverness-shire and*

- Director of the East India Company*, London: J. Murray, 1904.
- Moseley, W. W., *The Origin of the First Protestant Mission to China*, London: Simpkin, Marshall & Co., 1842.
- Myers, J. B. (ed.), *The Centenary Volume of the Baptist Missionary Society 1792–1892*, London: The Baptist Missionary Society, 1892. (2<sup>nd</sup> ed.)
- Newbold, T. J., *Political and Statistical Account of the British Settlements in the Straits of Malacca: Viz. Pinang, Malacca, and Singapore, with a History of the Malayan States on the Peninsula of Malacca*, 2 vols., London: J. Murray, 1839.
- Parsons, Usher, *Life of Sir William Pepperell*, Boston: Little, Brown and Company, 1855.
- Pearson, Hugh, *Memoirs of the Life and Writings of the Rev. Claudius Buchanan*, Philadelphia: Benjamin & Thomas Kite, 1817.
- Pearson, Hugh, *Memoirs of the Life and Writings of the Rev. Claudius Buchanan, D. D.*, 2 vols., Oxford: The University Press, 1817.
- Plowden, Walter Francis Courtenay Chicheley, *Records of the Chicheley Plowdens A. D. 1590–1913; with Four Alphabetical Indices, Four Pedigree Sheets, and a Portrait of Edmund, the Great Elizabethan Lawyer*, London: Heath, Cranton & Ouseley Limited, 1914.
- Raffles, Sophia (ed.), *Memoir of the Life and Public Services of the Sir Thomas Stamford Raffles, F.R.S. & c.* London: John Murray, 1830.
- “Religious Intelligence, China”, *The Missionary Magazine for 1810, A Periodical Monthly Publication, intended as a Repository of Discussion and Intelligence Respecting the Progress of the Gospel Throughout the World*, Vol. 15, Edinburgh: Andrew and James Aikman, 1810, pp. 277–278.
- Roberts, Edmund, *Embassy to the Eastern Courts of Cochin-China, Siam, and Muscat; in the U. S. Sloop-of-War Peacock, During the Years 1832–3–4*, New York: Harper & Brothers, 1837.
- Roebuck, Thomas (ed.), *The Annals of the College of Fort William, from the Period of its Foundation, by His Excellency Wellesley*, K. P. Calcutta: The Hindoostanee Press, 1819.
- Samuel, E., *The Asiatic Annual Register; or, A View of the History of the Hindustan, and of the Politics, Commerce, and Literature of Asia, Vol. 12 for the Year 1810–11*, London: T. Cadell and W. Davis, 1812.
- Sidney Lee (ed.), *Dictionary of National Biography*, Vol. 60 & Supplement, Vol. 1, London: Smith, Elder & Co., 1899, 1901.
- Simeon, Charles, *Memorial Sketches of the Rev. David Brown with a Selection of His Sermons, Preached at Calcutta*, London: T. Cadell and W. Davis, 1816.
- “Some account of a Singular Race of Negroes Lately Discovered in the Remort Mountains of the Indian Archipelago”, *The Edinburgh Magazine and Literary Miscellany* Vol. 80, Archibald Constable and Company, 1817, pp. 238–239.

- Staunton, George, *An Authentic Account of An Embassy from the King of Great Britain to the Emperor of China*, Vol.1, Philadelphia: Robert Campbell, 1799.
- Staunton, George Thomas, *Ta Tsing Leu Li being the Fundamental Laws, and a Selection from the Supplementary Statutes of the Penal Code of China*, London: T. Cadell and W. Davis, 1810.
- Staunton, George Thomas, *Memoirs of the Chief Incidents of the Public Life of Sir George Thomas Staunton, Bart., Hon. D. C. L. of Oxford*, London: L. Booth, 1856.
- Teignmouth, Charles John Shore, *Memoir of the Life and Correspondence of John, Lord Teignmouth*, 2 vols., London: Hatchard and Son, 1843.
- The First Report of the Language Institution, in Aid of the Propagation of Christianity; with a List of Subscribers and Benefactors*, London: J. S. Hughes, 1826.
- The Society of the Promotion of Popular Instruction (ed.), *Christian Researches in India by the Rev. Claudius Buchanan, D. D. To Which are Prefixed, A Memoir of the Author and an Introductory of the Protestant Mission in India With an Appendix, containing a Summary of the Subsequent Progress of Missionary Operations in The East*, London: The Society of the Promotion of Popular Instruction, 1840.
- Tomlin, J., *Missionary Journals and Letters, Written during Eleven Years' Residence and Travels Amongst the Chinese, Siamese, Javanese, Khassias and Other Eastern Nations*, London: James Nisbet and Co., 1844.
- Townsend, William John, *Robert Morrison: The Pioneer of Chinese Missions*, London Missionary Society's Edition, London: S.W. Partridge & Co., 1888.
- Tracy, Joseph, *History of the American Board of Commissioners for Foreign Missions*, Boston: Mission House, 1842.
- "Translations from the Original Chinese; with Notes", *The Quarterly Review* Vol. 13, No. 26, Jul. 1815, pp. 408–418.
- Twining, Thomas, *To the Chairman of the East India Company, on the Danger of Inferring in the Religious Opinions of the Natives of India; and on the Views of the British and Foreign British Society, as Directed to India*, London: Hazard and Carthew, 1807 (2nd ed.).
- Varo, Francisco, *Arte de la Lengua Mandarina*, Canton: [publisher not identified], 1703.
- Wade, Thomas Francis, *Note on the Condition and Government of the Chinese Empire in 1849*, Hong Kong: China Mail Office, 1850.
- Whitehouse, J. O., *London Missionary Society: A Register of Missionaries Deputations, ETC from 1796 to 1896*, London: London Missionary Society, 1896.
- Williams, Frederick Wells, *The Life and Letters of Samuel Wells Williams, L. L. D., Missionary, Diplomatist, Sinologue*, New York: G. P. Putnam's sons, 1889.

- Williams, Samuel W., *The Middle Kingdom: A Survey of The Geography, Government, Education, Social Life, Arts, Religion, &c., or The Chinese Empire and Its Inhabitants*, 2 vols., New York & London: Wiley and Putnam, 1848.
- Williams, Samuel W., *The Middle Kingdom: A Survey of The Geography, Government, Education, Social Life, Arts, Religion, &c., or The Chinese Empire and Its Inhabitants*, 2 vols., New York: Charles Scribner's Sons, 1883.
- Wright Arnold, *Twentieth Century Impressions of Hongkong, Shanghai, and Other Treaty Ports of China*, London: Lloyd's Greater Britain Pub., 1908
- Wylie, Alexander, *Memorials of Protestant Missionaries to the Chinese: Giving a List of Their Publications, and Obituary Notices of the Deceased with Copious Indexes*, Shanghai: American Presbyterian Mission Press, 1867.
- Wylie, Alexander, *Notes on Chinese Literature: with Introductory Remarks on the Progressive Advancement of the Art; and a List of Translations from the Chinese into Various European languages*, Shanghai: American Presbyterian Mission Press, 1867.

## 研究著作

### 英文文献

- Aalund F. & Rasten, S., “Indo-Danish Heritage Buildings of Serampore: Survey Report by Serampore Initiative of the National Museum of Denmark”, 2010, pp. 1–80 ([https://natmus.dk/fileadmin/user\\_upload/natmus/etnografisksamling/billeder/Serampore/Serampore\\_report\\_2010\\_web.pdf](https://natmus.dk/fileadmin/user_upload/natmus/etnografisksamling/billeder/Serampore/Serampore_report_2010_web.pdf)).
- Abell, Lucia Elizabeth, *Napoleon & Betsy: Recollections of the Emperor Napoleon on St Helena*, Gloucestershire: Fonthill Media, 2017.
- Anderson, Gerald H. (ed.), *Biographical Dictionary of Christian Missions*, Cambridge, U. K.: Wm. B. Eerdmans Publishing, 1999.
- Aylmer, Charles, “The Memoirs of H. A. Giles”, *East Asian History*, Nos. 13–14, 1997, pp. 1–90.
- Bastin, John & Weizenegger, Julie, *The Family of Sir Raffles*, Singapore: National Library Board, 2016.
- Barnett, Suzanne Wilson & Fairbank, J. K. (eds.), *Christianity in China: Early Protestant Writing*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1985.
- Bays Daniel H. (ed.), *Christianity in China: From the Eighteenth Century to the Present*, Stanford: Stanford University Press, 1996.
- Bays, Daniel H., *A New History of Christianity in China*, Oxford: Wiley-Blackwell, 2012 (1<sup>st</sup> ed. 2011).
- Berry, Graham, *From Kilts to Sarongs: Scottish Pioneers of Singapore*, Singapore: Landmark Books, 2015.
- Blake, Robert, *Jardine Matheson, Traders of the Far East*, London: Weidenfeld & Nicholson, 1999.

- Bowman, Marilyn Laura, *James Legge and the Chinese Classics: A Brilliant Scot in the Turmoil of Colonial Hong Kong*, Victoria, BC, Canada: Friesen Press, 2016.
- Britton, Roswell S., *The Chinese Periodical Press 1800–1912*, Taipei: Ch'eng-wen Publishing Co, 1966 (1<sup>st</sup> ed. Shanghai etc.: Kelly & Walsh, limited, 1933).
- Brake, Laurel & Demoor, Marysa, eds., *Dictionary of Nineteenth-Century Journalism in Great Britain and Ireland*, Gent: Academia Press, 2009.
- Braga, José Maria, “The Beginning of Printing at Macao”, *Studia*, No. 12, July 1963, Lisbon, pp. 29–137.
- Blake, Robert, *Jardine Matheson, Traders of the Far East*, London: Weidenfeld & Nicholson, 1999.
- Branner, David Prager, “The Linguistic Ideas of Edward Harper Parker”, *Journal of the American Oriental Society*, Vol. 119, No. 1 (Jan. - Mar., 1999), pp. 12–34.
- Broomhall, Marshall, *Robert Morrison, A Master Builder*, Edinburgh: Turnbull and Spears, 1927 (1<sup>st</sup> ed. 1924).
- Broomhall, Marshall, *The Bible in China*, Edinburgh: R. & R. Clark, Limited, 1934.
- Brown, Yu Ying, “Sir Robert Kennaway Douglas and His Contemporaries”, (Electronic British Library Journal) 2008, pp. 122-129, <http://www.bl.uk/eblj/1998articles/article8.html>.
- Byers, Paula K., etc., Research (eds.), “William Carey”, *Encyclopedia of World Biography*, Vol. 3 (2<sup>nd</sup> ed.), Detroit: Gale, 2004.
- Byrd, Cecil K., *Early Printing in the Straits Settlements, 1806–1858*, Singapore National Library, 1970.
- Carson, Penelope, *The East India Company and Religion, 1698–1858*, Woodbridge: The Boydell Press, 2012.
- Ch'en, Yao-sheng and Hsiao, S. Y. Hsiao (translated and edited by William W. L. Wan and T. W. Kwok), *Sinology in the United Kingdom and Germany*, Honolulu: East-West Center, 1967.
- Chancey, Karen, “The Star in the East: The Controversy over Christian Missions to India, 1805–1813”, *The Historian*, Vol. 60, No. 3, 1998, pp. 507–522.
- Chen, Songchuan, “An Information War Waged by Merchants and Missionaries at Canton: The Society for the Diffusion of Useful Knowledge in China”, *Modern Asian Studies*, Vol. 46, Issue 6 (2012), pp. 1705–1735.
- Cohn, Bernard S., *Colonialism and It's Forms of Knowledge*, Princeton: Princeton University Press, 1996.
- Coates, P. D., *China Consuls: British Consular Officers, 1843–1943*, Hong Kong: Oxford University Press, 1988.
- Coutu, John, *Persuasion and Propaganda: Monuments and the Eighteen Century British Empire*, Montreal: McGill-Queen's Press - MQUP, 2006.
- Cutts, Elmer H., “Chinese Studies in Bengal”, *Journal of the American Oriental Society*, Vol. 62, No. 3, 1942, pp. 171–174.

- Daily, Christopher A., *Robert Morrison and the Protestant Plan for China*, Hong Kong: Hong Kong University Press, 2013.
- Darlow, T. H. & Moule, H. F., *Historical Catalogue of the Printed Editions of Holy Scripture in the Library of the British and Foreign Bible Society, Vol. 2, Polyglots and Languages other than English*, London: The Bible House, 1906, reprinted by Kraus Reprint Corporation, 1963, New York.
- Das, S. Kumar, *Sahibs and Munshis: An Account of the College of Fort William*, New Delhi: Orion Publications, 1978.
- Downs, Jacques M., “American Merchants and the China Opium Trade, 1800–1840”, *The Business History Review*, Vol. 42, No. 4 (Winter, 1968).
- Dwight, Henry Otis, Tupper, H. Allen, Bliss Edwin Munsell (eds.), *The Encyclopedia of Missions—Descriptive, Historical, Biographical, Statistical*, New York, London: Funk & Wagnalls Co., 1904.
- Eastberg, Jodi Rhea Bartley, “West meet East: British Perceptions of China Through the Life and Works of Sir George Thomas Staunton, 1781–1859”, Ph. Dissertation, Marquette University, 2009.
- Fairbank, John K., *Trade and Diplomacy on the China Coast 1842–1854*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1964.
- Fairbank, John K. (ed.), *The Missionary Enterprise in China and America*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1974.
- Flower, Raymond, *The Penang Adventure: A History of the Pearl of the Orient*, Singapore: Utopia Press Pte Ltd., 2009.
- Foster, William, “The India Board (1784–1858)”, *Transactions of the Royal Historical Society*, Vol. 11, 3rd ser., Dec. 1917, pp. 61–85.
- Gao, James Z., *Historical Dictionary of Modern China (1800–1949)*, Lanham: The Scarecrow Press, 2009.
- Gerson, Jack J., *Horatio Nelson Lay and Sino–British Relations, 1854–1864*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1972.
- Girardot, Norman J., *The Victorian Translation of China: James Legge’s Oriental Pilgrimage*, Berkeley: University of California Press, 2002.
- Gulick, Edward V., *Peter Parker and the Opening of China*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1974.
- Hancock, Christopher, *Robert Morrison and the Birth of Chinese Protestantism*, London; Bloomsbury T & T Clark, 2008.
- Harrison, Brian, *Waiting for China: The Anglo-Chinese College at Malacca, 1818–1843, and Early Nineteenth-Century Missions*, Hong Kong: Hong Kong University Press, 1979.
- Harrison, Brian, *Holding the Fort: Melaka Under the Two Flags, 1795–1845*, Kuala Lumpur: Printing Works Sdn. Bhd., 1986.

- He, Sibing, “Russell and Company in Shanghai, 1843–1891: U. S. Trade and Diplomacy in Treaty Port China”, Paper presented to “A Tale of Ten Cities: Sino–American Exchange in the Treaty Port Era, 1840-1950—An Interdisciplinary Colloquium,” Hong Kong University, 23–24 May 2011. (<https://amstudy.hku.hk/news/treatyports2011/files/sibinghe.pdf>)
- Hevia, James L., *English Lessons: The Pedagogy of Imperialism in Nineteen-Century China*, London: Duke University Press, 2003.
- Hillemann, Ulrike, *Asian Empire and British Knowledge: China and the Networks of British Knowledge*, New York: Palgrave Macmillan, 2009.
- Honey, David B., *Incense at the Altar: Pioneering Sinologists and The Development of Classical Chinese Philology*, New Haven, Connecticut: American Oriental Society, 2001.
- Hooper, J. S. M., (Revised by W. J. Culshaw), *Bible Translation in India, Pakistan and Ceylon*, Oxford: Oxford University Press, 1963 (2nd ed.).
- Hussin, Nordin, *Trade and Society :In The Straits of Melaka: Dutch Melaka and English Penang, 1780–1830*, Singapore: Nias Press, 2007.
- Hykes, J. R., *Translations of the Scriptures into the Languages of China and Her Dependences*, New York: American Bible Society, 1916.
- Jeyaraj, Daniel, “Embodying Memories: Early Bible Translations in Tranquebar and Serampore”, *International Bulletin of Mission Research*, Vol. 40, Issue 1, 2016, pp. 42–59.
- Grierson, G. A., “The Early Publications of the Serampore Missionaries”, *The Indian Antiquary*, Vol. 32, 1903, pp. 241–253.
- Karsh, Jason A., “The Root of the Opium War: Mismanagement in the Aftermath of the British East India Company's Loss of its Monopoly in 1834”, *Honors Program in History (Senior Honors Theses) 13*, University of Pennsylvania, 2008 ([http://repository.upenn.edu/hist\\_honors/13](http://repository.upenn.edu/hist_honors/13)).
- King, Frank H. H. (ed.) & Clarke Prescott, *A Research Guide to China Coast Newspapers, 1822–1911*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1965,
- Kitson, Peter J., *Forging Romantic China: Sino–British Cultural Exchange 1760–1840*, Cambridge: Cambridge University Press, 2013.
- Kopf, David, *British Orientalism and the Bengal Renaissance*, Berkeley: University of California Press, 1969.
- Kwan, Uganda Sze Puis, “Translation and the British Colonial Mission: The Career of Samuel Turner Fearon and the Establishment of Chinese Studies in King's College London”, *Journal of the Royal Asiatic Society*, Vol. 24, Issue 4, 2014, pp. 623–642.
- Lai, John Yung-Hsiang(comp.), Harvard-Yenching Library, *Catalogue of Protestant Missionary Works in Chinese*, Boston: G.K. Hall, 1980.

- Langdon, Marcus, *Penang: The Fourth Presidency of India, 1805–1830 Vol. 1: Ships, Men and Mansions*, Penang: Areca Books, 2013.
- Latourette, Kenneth Scott, *A History of Christian Missions in China*, New York: The Macmillan Company, 1929.
- Latourette, Kenneth Scott, *A History of the Expansion of Christianity*, New York: Harper & Bros., 7 vols., 1937–1945.
- Lazich, Michael C., *E. C. Bridgman (1801–1861), America's First Missionary to China*, Lewiston, N. Y.: Edwin Mellen Press, 2000.
- Lee, Ida, *Commodore Sir John Hayes: His Voyage and Life*, London: Longmans, Green, and Co., 1912.
- Lee, Mee Onn, “Critical Analysis of Robert Morrison’s Mission Strategy in China and Malacca”, Ph. Diss. Southwestern Theological Seminary, 2011.
- Loh, I-Jin, “Chinese Translations of Bible”, Chan Sin-Wai and David E. Pollard (eds.), *An Encyclopedia of Translation*, Hong Kong: The Chinese University Press, 1995, pp. 54–69
- Lundbaek, Knud, “The Establishment of European Sinology, 1801–1815”, Clausen, S., Starrs, R. & Wedellsborg, A. W. (eds.), *Cultural Encounters: China, Japan, and the West*, Aarhus: Aarhus University Press, 1995, pp. 15–54.
- Lutz, Jessie Gregory, *Opening China: Karl F. A. Gutzlaff and Sino-Western Relations, 1827–1852*, Cambridge, UK.: William B. Eerdmans Publishing Company, 2008.
- Ma, Min, “Joshua Marshman and The First Chinese Book Printed with Movable Metal Type”, *Journal of Cultural Interaction in East Asia* 6, 2015, pp. 3–17.
- Malcolm, Elizabeth L., “The Chinese Repository and Western Literature on China 1800 to 1850,” *Modern Asian Studies*, Vol. 7, No. 2, 1973, pp. 165–178.
- Moffett, Samuel Hugh, *A History of Christianity in Asia*, Vol. I: *Beginnings to 1500*; *A History of Christianity in Asia*, Vol. II: *1500–1900*, New York: Orbis Books, 2014. (1<sup>st</sup> ed. 1992, Harper SanFrancisco)
- Morse, Hosea Ballou, *The Chronicles of the East India Company, Trading to China 1635–1834*, 5 vols., Oxford: Clarendon Press, 1926–1929.
- Mungello, David E., *Curious Land: Jesuit Accommodation and the Origins of Sinology*, Honolulu: University of Hawaii Press, 1989 (1<sup>st</sup> ed. 1985).
- Neal, Stan, “Jardine Matheson and Chinese Migration in the British Empire, 1833–1853”, Ph.D. Dissertation, University of Northumbria, 2015.
- O’Sullivan, R. L., “The Anglo-Chinese College and the Early ‘Singapore Institution’”, *Journal of the Malaysian Branch of the Royal Asiatic Society*, Vol. 61, No. 2, 1988, pp. 46–62.

- O'Sullivan, R. L., "The London Missionary Society: A Written Record of Missionaries and Printing Presses in the Straits Settlements, 1815–1847", *Journal of the Malaysian Branch of the Royal Asiatic Society*, Vol. 57, No. 2, 1984, pp. 61–104.
- Peebles, Shyama, "Old Protestant Cemetery in Macao", submitted on the web in 2010. (<https://gwulo.com/macau-protestant-cemeteries>)
- Pfrister, Louis, *Notices Biographiques Et Biographiques Sur Les Jésuites De L'ancienne Mission De Chine. 1552-1773*, Tomb I, XVIe et XVIIe siècles, Chang-Hai: Imprimerie De La Mission Catholique, 1932.
- Pfister, Lauren F., *Striving for 'The Whole Duty of Man': James Legge and the Scottish Protestant Encounter with China*, 2 vols., New York: Peter Lang International Academic Publishers, 2004.
- Pichon Alain Le, *China Trade and Empire: Jardine, Matheson & Co. and the Origins of British Rule in Hong Kong 1827–1843*, Oxford: Oxford University Press/British Academy, 2006.
- Ride, Lindsay, *Robert Morrison: Scholar and the Man*, Hong Kong: Hong Kong University Press, 1957.
- Ride, Lindsay, etc., *An East India Company Cemetery: Protestant Burials in Macao*, Vol. 1, Hong Kong: Hong Kong University Press, 1995.
- Roe, Margriet, "Hayes, Sir John (1768–1831)", *Australian Dictionary of Biography*, National Centre of Biography, Australian National University, <http://adb.anu.edu.au/biography/hayes-sir-john-2173/text/2789>, published first in hardcopy 1966.
- Rubinstein, Murray A., *The Origins of The Anglo-Missionary Enterprise in China 1807–1840*, Lanham, Maryland: The Scarecrow Press Inc, 1996.
- Scott, Dorothea, "The Morrison Library and Early Nineteenth Collection in the Library of the University of Hong Kong", *Journal of Royal Asiatic Society Hong Kong Branch*, Vol. 1, 1961, pp. 50–67.
- Shavit, David, *The United States in Asia: A Historical Dictionary*, Westport: Greenwood Publishing Group, 1990.
- Shenk, Wilbert R., "The Legacy of Claudius Buchanan", *International of Bulletin of Mission Research*, Vol. 18, Issue 2, 1994, pp. 78–84.
- Simkin, John, "Sierra Leone Company", September 1997 (updated August 2014), Spartacus Educational Publishers Ltd — <http://spartacus-educational.com/REsierra.htm>
- Siang, Song Ong, *One Hundred Year's History of the Chinese in Singapore*, London: John Murray, Albemarle Street, 1923.
- Standaert, Nicolas (ed.), *Handbook of Christianity in China, Volume One: 635–1800*, Leiden: Brill, 2001.
- Standenaes, Thor, "Anonymous Bible Translators: Native Literati and the Translation of the Bible into Chinese 1807–1907", Stephen Batalden et al.(ed.), *Sowing the Word: The Cultural Impact of the British and Foreign Bible Society 1804–2004*, Sheffield, U.K.: Sheffield Phoenix, 2004, pp. 121–148.

- Stifler, S. Reed, “The Language Student of The East India Company’s Canton Factory”, *Journal of the North China Branch of Royal Asiatic Society*, Vol. 69, 1938, pp. 46–82.
- Spence, Jonathan D., *Western Advisers in China to Change China*, London: Penguin Books, 2002 (1<sup>st</sup> 1980, reprint of the 1969 ed. Published by Little, Brown, New York).
- Su, Ching, “The Printing Presses of the London Missionary Society Among the Chinese”, Ph. Dissertation, University College London, 1996.
- Taylor, Rosemary, “English Baptist Periodicals, 1790–1865”, *Baptist Quarterly*, Vol. 27, 1977, pp. 50–82.
- The University of Hong Kong, “John Davis”, pp. 1–70, 2005 ([http://lib.hku.hk/friends/reading\\_club/tn2005\\_1\\_JohnDavis.pdf](http://lib.hku.hk/friends/reading_club/tn2005_1_JohnDavis.pdf)).
- Tiedemann, R. G. (ed.), *Handbook of Christianity in China, Volume Two: 1800 to the Present*, Leiden: Brill, 2010.
- Tong, Clement Tsz Ming, “The Protestant Missionaries as Bible Translators: Mission and Rivalry in China, 1807–1839”, Ph. D. Dissertation, University of British Columbia, 2016.
- Van Dyke, Paul A., *The Canton Trade: Life and Enterprise on the China Coast, 1700–1845*, Hong Kong: Hong Kong University Press, 2005.
- Walker, William, *A History of the Christian Church*, Edinburgh: T&T Clark, 1986.
- Walravens, Hartmut (ed.), *Julius Klaproth (1783–1835) Briefe und Dokumente*, Wiesbaden: Harrassowitz, 1999.
- Widmer Eric, *The Russian Ecclesiastical Mission in Peking during the Eighteenth Century*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1976.
- Wong, Lawrence Wang-chi, “John Francis Davis as a Translator of Chinese Literature”, Lawrence Wang-chi Wong & Bernhard Fuehrer (eds.), *Sinologists as Translators in the Seventeenth to Nineteenth Centuries*, Hong Kong: The Chinese University of the Hong Kong, 2015, pp.169–204.
- Wong, M. K., *James Legge: A Pioneer at Crossroads of East and West*, Hong Kong: Hong Kong Educational Pub. Co., 1996.
- Zetzsche, Jost O., *The Bible in China: The History of the Union Version or the Culmination of Protestant Missionary Bible Translation in China*, Sankt Augustin: Monumenta Serica Institute, 1999.

## 中文文獻

- 仇華飛 「裨治文与『中国総報』」『歴史檔案』2006年第3期、46～72頁。
- 顧鈞 『衛三畏与美国早期漢学』北京：外語教学与研究出版社、2009年。
- 耿昇 『法国漢学史論』上·下冊、北京：学苑出版社、2015年。
- 閔詩珮 「徵求訳者！徵求訳者！——阿片戦争訳者不足与英国漢学の起源(1837–1851)」『国際漢学』第25輯2014年第1期、114～137頁。

- 閔詩珮「翻譯与帝国官僚——英国漢学教授佐麻須(James Summers; 1828-91)与十九世紀東亞(中日)知識的生產」『翻譯学研究集刊』第17輯、2014年、23~58頁。
- 胡優靜『英国19世紀漢学史研究』北京：学芸出版社、2009年。
- 康太一「東方智者的話語——一九世紀初期第一部英訳『論語』之歷史研究」『北京行政学院学报』2012年第6期、121~126頁。
- 康太一「一九世紀初駐印新教傳教士之中文印刷出版」『國際漢学』2014年第1期、246~264頁。
- 孔陳焱『衛三畏与美国漢学研究』上海：上海辞書出版社、2010年。
- 李金強、吳梓明、邢福增主編『自西徂東——基督教來華二百年論集』香港：基督教文芸出版社、2009年。
- 李麗娟「阿片戰爭前与中国問題有關的報刊簡述」『新西部』2016年15期、94~95頁。
- 李志剛『基督教早期在華傳教史』台北：台湾商務印書館、1985年。
- 馬敏「馬希曼、拉沙与早期的『聖經』中訳」『歷史研究』1998年第4期、45~55頁。
- 内田慶市「關於馬礼遜的語法論及其翻譯觀」『東アジア文化交渉研究』第2号、2009年、209~216頁。
- 譚樹林「英華書院——近代教会学校之濫觴」『聊城大学学报(哲学社会科学版)』2002年第2期、62~66頁。
- 譚樹林「近代中文『聖經』翻譯史上的『二馬訳本』」『煙台師範学院学报(哲学社会科学版)』第20卷第4期、2003年、84~89頁。
- 譚樹林『馬礼遜与中西文化交流』杭州：中国美术学院出版社、2004年。
- 譚樹林「『中国総報』考釈」『歷史檔案』2008年第3期、84~89頁。
- 譚樹林『英国東印度公司与澳門』廣州：廣東人民出版社、2010年。
- 譚樹林「馬礼遜漢語教學活動述論」『暨南史学』2012年00期、83~90頁。
- 譚樹林「英華書院之印刷出版与中西文化交流」『江蘇社会科学』2015年第1期、241~251頁。
- 屈文生「『望廈条約』訂立前後中美往来照会及翻譯活動研究」『復旦学报(社会科学版)』2017年1期、113~126頁。
- 蘇精『馬礼遜与中文印刷出版』台北：台湾学生書局、2000年。
- 蘇精『中国、開門!——馬礼遜及相關人物研究』香港：基督教中国宗教文化研究社、2005年。
- 蘇精『上帝的人馬——十九世紀在華傳教士的作為』香港：香港中文大学基督教中国宗教文化研究社、2006年。
- 蘇精「馬礼遜与英華書院的經費」李金強、吳梓明、邢福增主編『自西徂東——基督教來華二百年論集』香港：基督教文芸出版社、2009年、31~52頁。
- 蘇精『基督教与新加坡華人1819-1846』新竹：国立清華大学出版社、2010年。
- 蘇精『鑄以代刻——傳教士与中文印刷變局』台北：国立台湾大学出版中心、2014年。
- 王化文「『中国総報』主要作者群研究」『商品与質量』2011年第S4期、99~100頁。
- 王治心『中国基督教史綱』文海出版社、1957年(初版、青年協會書局、1940年)。

- 吳義雄『在宗教与世俗之間』廣州：廣東教育出版社、2000年。
- 吳義雄「『中国総報』与中国歴史研究」『中山大学学報(社会科学版)』2008年1期、79～91頁。
- 吳義雄「『中国総報』与中国語言文字研究」『社会科学研究』2008年4期137～144頁。
- 吳義雄「前言」、馬礼遜・米怜主編『印中搜聞: *Indo-Chinese Gleaner*, 1817～1822』北京：国家図書館出版社、2009年。
- 吳義雄「『中国総報』關於中国社会信仰与風習的研究」『學術研究』2009年第9期、101～113頁。
- 吳義雄『条約口岸体制の醞釀——19世紀30年代中英關係研究』北京：中華書局、2009年。
- 吳義雄「前言」、馬礼遜・米怜主編『印中搜聞: *Indo-Chinese Gleaner*, 1817～1822』北京：国家図書館出版社、2009年。
- 夏泉・徐天舒「嘉道年間英華書院創校南洋研究」『東南亜研究』2003年5期、77～80頁。
- 熊月之「近代西学東漸の序幕——早期伝教士在南洋等地活動史料鉤沈」『史林』1992年第4期、15～25頁。
- 熊文華『英国漢学史』北京：学苑出版社、2007年。
- 熊文華『荷蘭漢学史』北京：学苑出版社、2012年。
- 熊文華『美国漢学史』北京：学苑出版社、2015年。
- 燕海飛「CCTV9 記録片『紐帶』の文案」2015-07-09。(https://wenku.baidu.com/view/aac953a95901020207409c90.html).
- 閻国棟『俄羅斯漢学 300年』北京：学苑出版社、2007年。
- 葉鋒「馬礼遜『通用漢言之法』出版過程考」『湖北社会科学』2015年第2期、109～111頁。
- 游博清、黄一農「天朝与遠人——小斯当東与中英關係(1793-1840)」『中央研究院近代史研究所集刊』第69期、2010年、1～40頁。
- 張海林「在華実用知識伝播会探析」『南京学報』2005年第1卷、94～104頁。
- 張施娟「裨治文与他的『美理哥合省国志略』」浙江大学博士論文、2005年。
- 張施娟『裨治文与早期中美文化交流』浙江大学出版社、2010年。
- 張西平『中国総報: 影印本(1832. 5-1851. 12)』桂林：広西師範大学出版社、2008年。
- 張西平主篇、顧鈞・楊慧玲整理『「中国総報」篇名目録及分類索引』桂林：広西師範大学出版社、2008年。
- 中国社会科学院近代史研究所翻譯室編『近代來華外国人名辞典』北京：中国社会科学出版社、1981年。
- 鄒朝春「『中国総報』的創刊及其動機初探」『宗教学研究』2014年第4期、234～238頁。

#### 和文文献

- 浅田實「東インド会社とヘイリーベリー校」木畑洋一編『大英帝国と帝国意識——支配の深層を探る』ミネルヴァ書房、1998年、97～122頁。
- 石田幹之助『東亜研究講座——欧米支那学界現況一斑』第6輯、東亜研究会、1925年。
- 石田幹之助『欧米・ロシア・日本における中国研究』科学書院、1997年。
- 岩井大慧ほか『支那叢報解説』第1巻～第10巻、丸善株式会社、1942年。第11巻～第15巻、

- 丸善株式会社、1944年。
- 殷晴「清代における底本の発行と流通——清朝中央情報の伝播の一側面」『史学雑誌』第127編第12号、2018年、1～38頁。
- 榎一雄『ヨーロッパとアジア』大東出版社、1983年。
- 海老澤有道『日本の聖書——聖書和訳の歴史』講談社、1989年。
- 太田淳「南西カリマンタンの海洋移民と国家——1760～1850年」113～128頁。(https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/caas/qo9edr00000ml88-att/07.pdf)
- 小澤三郎『幕末明治耶蘇教史研究』亜細亜書房版、1944年。(『幕末明治耶蘇教史研究』日本基督教団出版局、1973年)。
- 倉橋愛「インド派遣書記を対象とする包括的な教育組織——フォート・ウィリアム・カレッジが目指したもの」『Ex Oriente』大阪大学言語社会学会、第21号、2014年、175～191頁。
- 倉橋愛「フォート・ウィリアム・カレッジの開講科目」『南アジア研究』第29号、2017年、124～143頁。
- 倉橋愛「フォート・ウィリアム・カレッジの学籍制度」『比較文化研究』第127号、2017年、23～32頁。
- 鬼頭さやか「フランシスコ・ヴァロ『官話文典』について」『KOTONOHA』第27号、古代文字資料館、2005年(http://www.for.aichi-pu.ac.jp/museum/pdf/kitou-kanwabunten.pdf)。
- 倉田明子『中国近代開港場とキリスト教——洪仁玕がみた「洋」社会』東京大学出版会、2014年。
- 後藤末雄(矢沢利彦編)『中国思想のフランス西漸』全2巻、平凡社、1969年。
- 佐伯好郎『清朝基督教の研究』春秋社、1949年。
- 佐藤公彦『清末のキリスト教と国際関係——太平天国から義和団・露清戦争、国民革命へ』汲古書院、2010年。
- 塩山正純「モリソンが会話テキストに書いた中国語」『文明21』第23巻、2009年、69～91頁。
- 塩山正純『初期中国語訳聖書の系譜に関する研究』白帝社、2013年
- 信夫清三郎『ラッフルズ伝——イギリス近代的植民政策の形成と東洋社会』東洋文庫、1968年。
- 朱鳳『モリソンの「華英・英華字典」と東西文化交流』白帝社、2009年。
- 朱鳳「英華書院の翻訳人材養成とその成果——年次報告書を資料として」『アジア文化交流研究』第4号、関西大学アジア文化交流研究センター編、2009年3月、297～307頁。
- 朱鳳「Morrison の書簡についての研究——Joshua Marshman との確執」『或文』第24号、2013年、17～30頁。
- 鈴木広光『日本語活字印刷史』名古屋大学出版会、2015年。
- 鈴木武「Chinese Repository について(I)」『Cosmica』第15号、1985年、1～13頁。
- 鈴木武「Chinese Repository について(II)」『Cosmica』第16号、1986年、9～26頁。
- 鈴木武「Chinese Repository について(III)」『Cosmica』第17号、1987年、35～47頁。
- 高田時雄「トマス・ウェイドと北京語の勝利」狭間直樹編『西洋近代文明と中華世界』京都大学学術出版会、2001年、127～142頁。

- 卓南生『中国近代新聞成立史 1815-1874』ペリカン社、1990年。
- 竹内博編著『来日西洋人名事典』日外アソシエーツ、1983年。
- 田中正美「新教中国伝道の開拓とイギリス東印度会社」山崎宏編『中国社会と宗教』東京：不昧堂書店、1954年、381～431頁。
- 土肥歩『華南中国と近代キリスト教』東京大学出版会、2017年。
- 内藤正子「R. モリソンと J. マーシュマンの中国語文法書」『日本中国学会報』第47集、1995年、210～222頁。
- 中川かず子「ジェームス・サマーズ日本研究者、教育者としての再評価」『北海学園大学人文論集』第41号、2008年、95～122頁。
- 中村聡『宣教師たちの東アジア——日本と中国の近代化とプロテスタント伝道書』勉誠出版、2015年。
- 並木頼寿・井上裕正『世界の歴史 19 中華帝国の危機』中央公論社、1997年。
- 日本基督教協議会『キリスト教大事典』教文館、1963年。
- 新居洋子『イエズス会士と普遍の帝国——在華宣教師による文明の翻訳』名古屋大学出版会、2017年。
- 何群雄「ロバート・モリソンとその『通用漢語之法』」『一橋研究』第23巻4号、1999年、67～88頁。
- 何群雄『中国語文法學事始——馬氏文通』に至るまでの在華宣教師の著書を中心に』三元社、2000年。
- 坂野正高『近代中国外交史研究』岩波書店、1970年。
- 坂野正高『近代中国政治外交史——ヴァスコ・ダ・ガマから五四運動まで』東京大学出版会、1973年。
- 浜渦哲雄『イギリス東インド会社——軍隊、官僚、総督』中央公論新社、2009年。
- 平塚益徳「英華學党考」『中国近代教育史』教育開発研究所、1985年、319～345頁。
- 弘末雅士『東南アジアの港市世界——地域社会の形成と世界秩序』岩波書店、2004年。
- 黄イエレム「『上帝か神か』の英米人宣教師間の用語論争」『DEREK』第33号、立教大学キリスト教学研究科、2013年、43～63頁。
- 深澤秀男『中国の近代化とキリスト教』新教出版社、2000年。
- 古屋昭弘「17世紀ドミニコ会士ヴァロと『官話文典』」『中国文学研究』第22号、1996年12月、118～129頁。
- ブーヴェ(後藤末雄訳・矢沢利彦補訂)『康熙帝伝』平凡社、1970年。
- マカートニー、ジョージ(坂野正高訳注)『中国訪問使節日記』平凡社、1975年。
- 松村潤「白鳥庫吉」江上波夫編『東洋学の系譜』大修館書店、1992年、37～47頁。
- 宮田和子『英華辞典の総合的研究——19世紀を中心として』白帝社、2010年。
- 都田恒太郎『ロバート・モリソンとその周辺』教文館、1974年。
- 都田恒太郎『ギョツラフとその周辺』教文館、1978年。

- 宮澤眞一「伝道印刷者S.W.ウィリアムズのマカオ生活——月刊雑誌 Chinese Repository (1832-51)の運営を中心とする一考察」『埼玉女子短期大学研究紀要』第17号 2006年3月、35～56頁。
- 村上嘉英「モリソンの中国語文法研究」『中文研究』第14巻、1973年、1～8頁。
- 矢沢利彦『東西文化交渉史』中村出版社、1965年(初版1957年)。
- 矢沢利彦『中国とキリスト教』近藤出版社、1977年(初版1972年)。
- 矢沢利彦「ロバート・モリソン」高田時雄編著『東洋学の系譜欧米篇』大修館書店、1996年、11～21頁。
- 矢崎健一「中国語聖書翻訳小史」『聖書翻訳研究』No. 4、1972年、27～39頁。
- 柳文章『「ゴッド」は神か上帝か』岩波書店、2001年。(『ゴッドと上帝——歴史の中の翻訳者』筑摩書房、1986年)。
- 矢野仁一『近世支那外交史』弘仁堂書房、1930年。
- 山田利明『中国学の歩み——二十世紀のシノロジー』大修館書店、1999年。
- 山本澄子『中国キリスト教史研究』増補改訂版、山川出版社、2006年(初版 近代中国研究委員会、1972年)。
- 湯口隆司「インド初期プレス史に果たした『セランポール・トリオ』の役割」『新聞学評論』第38巻、1989年、152～164頁。
- 横井勝彦『アジアの海の大英帝国——19世紀海洋支配の構図』講談社、2004年。
- 吉川雅之「十九世紀在華欧米人の官話像——階級変種、標準変種、地域変種」『ことばと社会』17号、2015年、51～80頁。
- 吉田金一『近代露清関係史』近藤出版社、1974年。
- 吉田寅『中国プロテスタント伝道史研究』汲古書院、1997年。
- カピル・ラジ(水谷智・水井万里子・大澤広晃訳)『近代科学のリロケーション——南アジアとヨーロッパにおける知の循環と構築』名古屋大学出版会、2016年。
- リチャードソン, A.・ボウデン, J. 編(佐柳文男訳)『キリスト教神学事典』教文館、1995年。
- リッチ, マテオ(矢沢利彦注、平川祐弘解説、川名公平訳)『中国キリスト教布教史1』岩波書店、1982年。
- リッチ・セメード(川名公平訳、矢沢利彦訳・注)『中国キリスト教布教史 2』岩波書店、1983年。
- 渡辺祐子「中国プロテスタント伝道研究の視角」『キリスト教史学』第61集、2007年、149～166頁。

## 韓国語文献

- 姜仁圭「英華書院に中国近代教育に미친 영향」『中国史研究』第71輯、2011年2月、87～109頁。
- 신호철『감자와 함께 복음을 전해준 한국 최초 선교사』서울: 양화진선교회、2009年。

이보고 「The Chinese Repository 와 The Middle Kingdom 의 상관성 연구——19 세기 서구의 대(對)중국 지식 체계화 과정에 대한 검토」『中語中文学』 第 61 輯、2015 年 8 月、223~259 頁。

이환진 「19 세기와 20 세기의 중국어 성서」왕대일 편집『말씀의 뜻 밝혀주소서——주석과 성서번역』 서울: 대한기독교서회、2000 年、413~499 頁。

조훈 『윌리엄 밀튼——말라카 선교를 통한 중국 선교 기지의 개척자』 서울: 그리심、2008 年。

황예렘 「인도에서 이루어진 한문 성서의 번역·출판 배경과 경위」『성경원문연구』 제 38 호、2016 年、159~186 頁。

### ウェブ・ページ

College General, “A Brief History of College General, 1665–2018”

<https://www.collegegeneral.org/index.php/about/the-seminary>

Congregational Library and Archives, “*The Panoplist*”

<http://www.congregationallibrary.org/periodicals/panoplist>

Council for World Mission, <https://www.cwmission.org/about/>

King’s College, London, “Fearon, Samuel Turner”,

<https://kingscollections.org/victorianlives/d-f/fearon-samuel-turner>

Mundus “Council for World Mission Archive - Administrative/Biographical history”

<http://www.mundus.ac.uk/cats/4/249.htm>

Singapore National Library, “William Farquhar”

[http://eresources.nlb.gov.sg/infopedia/articles/SIP\\_501\\_\\_2008-12-15.html](http://eresources.nlb.gov.sg/infopedia/articles/SIP_501__2008-12-15.html)

The History Parliament, “Alexander, Josias Du Pré (1771–1839)”

<http://www.historyofparliamentonline.org/volume/1820-1832/member/alexander-josias-du-pre-1771-1839>

“The Morrison Collection”, <http://www.babelstone.co.uk/Morrison/Collection/History.html>

The University of Nottingham, “Biography of Lord William Henry Cavendish-Bentinck (1774–1839; M.P. and Governor General of India)”, [https://www.nottingham.ac.uk/manuscriptsandspecialcollections/collectionsindepth/family/portland/biographies/biographyoflordwilliamhenrycavendish-bentinck\(1774-1839;mpandgovernorgeneralofindia\).aspx](https://www.nottingham.ac.uk/manuscriptsandspecialcollections/collectionsindepth/family/portland/biographies/biographyoflordwilliamhenrycavendish-bentinck(1774-1839;mpandgovernorgeneralofindia).aspx)

Ying-Wa College, <http://www.yingwa.edu.hk>

## 論文の内容の要旨

本論文は、プロテスタント宣教師が、アヘン戦争以前の時期において、中国関連の知識を構築するのに極めて重要な役割を果たしたのは、いかなる経緯によるものだったのか、という問題の解明を目指すものである。そのために、プロテスタント宣教師による中国関連の主要事業を時代順に取り上げ、その事業が可能となった背景を中心に考察する。

まず、第 1 章では、プロテスタント宣教師による最初の中国関連の学術的成果として、J. マーシュマンによる『論語』英訳刊行の経緯を分析した。特に、なぜインドで中国に関する研究が始まったのかという点に注目し、マーシュマンの活動は、イギリス東インド会社の教育機関と深い関係があったことを明らかにした。

18 世紀後半からイギリス東インド会社はインドの統治機関として機能するようになり、1800 年には、公務員養成のため、フォート・ウィリアム・カレッジが設立された。カレッジでは東洋諸言語の教育とともに、国教会司祭である学長と副学長の主導のもと、東洋諸言語への聖書翻訳事業が進められた。その一環として、政治、外交、商業の面で必要とされた中国語の教育、そして聖書漢訳事業も計画され、マカオ生まれのアルメニア人 J. ラサールが教員として雇われた。だが、当時、インド総督と対立関係にあった東インド会社の取締役会がカレッジの縮小命令を出し、さらに宗教的要因からヴェールール反乱(1806 年 7 月)が起これると、新たな紛争の原因となりかねない聖書翻訳事業は中止された。こうした社会的・政治的变化のなか、カレッジ関係者の監督下で、バプテスト派宣教師マーシュマンがラサールとともに、宣教拠点セランポールで聖書漢訳事業を進めた。

儒教經典の英訳事業は、ヴェールール反乱を契機として聖書翻訳事業に対し批判的な声が高まっていた社会的雰囲気の中、新任のインド総督の後援を得る方案として、宣教とは距離を置いた一般的な学術活動として計画された。こうして 1809 年に完成した『論語』訳は、主に中国語分析に焦点を当てた参考書として東インド会社の要望に応じた成果となり、マーシュマン個人にとっても、聖書漢訳のために必要な中国語学習と中国文化の理解に役立つ仕事であった。

第2章では、1807年に初めて来華したロンドン宣教会の宣教師 R. モリソンが、いかなる経緯で字典(1815-23)や文法書(1815)、会話集(1816)などの中国語学習書を作成するに至ったのかについて、イギリス東インド会社との関係に焦点を当てながら論じた。

東インド会社の広東商館は、1793年のマカートニー使節団の北京訪問以降、中国語教育の必要性を強く認識し、中国語学習書を切望していた。こうした状況のもと、聖書漢訳事業のために中国語を学んでいたモリソンが、商館において通訳と中国語教育を担当しながら、字典や文法書などの編纂作業を行なった。商館は、フォート・ウィリアム・カレッジに倣い、中国語学習者に対する職務軽減や、通訳業務と中国語翻訳物に対するボーナス支給など、中国語教育の促進策を施した。そして東インド会社はマカオに印刷設備を導入し、字典などの中国語学習書や商館職員による翻訳物を印刷できる環境を整えた。

文法書、字典、会話集は、主に平易な文章で書かれており、また広州やマカオでの商業や生活に関わる例文を多く収録し、東インド会社の中国語学習者を想定して作成されたものであった。モリソンの学術的成果は、宣教師としての任務というよりは、中国語学習の基本書を必要としていた当時の東インド会社の要望を満たそうとする商館の業務のなかで積み重ねられたものだったのである。こうした中国語学習工具書の具備は、中国に関する知識および情報を得る手段となる言語の習得を容易にする道を拓いたといえる。

第3章では、モリソンの協力者として派遣された W. ミルンが、マラッカにアングロ・チャイニーズ・カレッジを設立(1818-20)するに至った経緯を分析し、中国に関連する情報収集や人材の養成が、マラッカをはじめとする中国以外の地域で進められた事情を明らかにした。

当時、中国では西洋人の居住や印刷、宣教活動は制限されており、中国以外の地域に宣教拠点を設ける必要があった。その準備のため、1814年、ミルンがジャワとマラッカへ巡回旅行を行い、その結果、マラッカが拠点に定められた。このとき、巡回訪問が可能となったのは、イギリスが1811年にジャワを占領して以降、中国および中国系移住民に関する情報や、統治手段としての現地人教育を必要としていたイギリス人現地官僚らの協力があったためである。こうした背景のもと、小学

校やアングロ・チャイニーズ・カレッジは、インド亜大陸からペナン、マラッカ、広州に至る貿易ネットワークを担うイギリス人現地有力者の承認と協力を得て、地域的な事業として着手されたのであった。カレッジ設立の趣旨として、伝道師養成機関ではなく、中国関連の専門教育機関を目指したことは、現地の東インド会社関係者の支持を幅広く得る基盤となり、その設立のための募金は、特に、モリソンを含む東インド会社の広東商館関係者が主導して進められた。カレッジに対し、現地の東インド会社関係者は、中国及びその周辺地域の情報収集と研究の場としての役割を期待する一方で、ミルンを含む宣教師らは、教育実務を担当することを通じて知識や情報を増やすことになったといえる。

第4章では、インドと広州・マラッカにおいて、聖書漢訳事業がそれぞれ進められた背景と経緯、そしてその印刷や頒布事業について考察した。特に英国聖書協会とインド亜大陸を含む東洋貿易拠点における聖書協会の設立について分析し、当時の聖書漢訳事業とは英国国教会指導者および東洋統治関係者の監督下に置かれた事業であることを考察した。

東洋諸言語の聖書翻訳事業を主導したフォート・ウィリアム・カレッジと英国聖書協会のメンバーは、協会設立以前から緊密な関係にあり、当初、聖書協会は国教会と国教徒有力者を中心とする組織であった。その有力者メンバーには元インド総督、ボンベイ知事、インド総督、東インド会社の役員など東洋植民地統治関係者が含まれており、カルカッタをはじめとする各地の聖書協会も、イギリス人現地有力者の主導のもとで設立されたのであった。

人材不足のなか、聖書協会はモリソンらの事業を後援することになり、聖書漢訳事業は、インドと広州・マラッカで同時に別々に進められるようになった。しかし、結局のところ、この両者は、国教会の指導者と有力者の監督下で一つの事業として行われたと見なすのが妥当である。こうして聖書協会から援助を受けた宣教師は、中国語の聖書をついに完成させた(インドでは 1822 年刊、マラッカでは 1823 年刊)。さらに、聖書頒布事業を通じて、宣教師らは東南アジアおよび中国沿海地方の中国人に接する機会を得、関連地域の事情に詳しくなっていた。

第5章では、中国に関する情報収集において最も重要な役割を果たした中国初の英文学術誌

『チャイニーズ・レポジトリー』(*Chinese Repository*, 1832–51)刊行の背景を、1830年代における広州の英米人コミュニティの変化に注目しながら明らかにした。

1830年代に入ると、中国での宣教はモリソン1人が担ったのではなく、K. F. A. ギュツラフ、および後に『チャイニーズ・レポジトリー』編集者となるアメリカ人宣教師が加わった。同時に、イギリス東インド会社の対清独占貿易の廃止(1833年)により、自由貿易商人が広州の欧米コミュニティで一大勢力として登場した。彼らは、自分たちの商業的・政治的意見を表明するために、『カントン・レジスター』をはじめとする定期刊行物を相次いで刊行した。こうした変化のなか、『チャイニーズ・レポジトリー』もアメリカ人商人の支援によって発刊された。ほかに、有用知識普及協会やモリソン教育協会、医療協会といった団体が貿易商の支援の下で結成され、宣教師はその実務を担当した。こうして、広州の欧米人コミュニティでは情報交換のネットワークが形成されていたのである。宣教師と商人らは各人の得意分野の記事を『チャイニーズ・レポジトリー』に投稿し、外交、商業、言語、宗教などあらゆる中国関連の情報や知識が集積されていった。

以上のように、アヘン戦争以前、イギリスの東洋貿易拠点における宣教師による活動は、漢文から英文への儒教経典翻訳事業、欧文から漢文への聖書翻訳事業、辞典や文法書などの中国語学習工具書の刊行、カレッジ設立といった教育事業、定期刊行物の刊行など広範囲にわたっており、そのいずれも現地有力者の監督や協力のもとで実現するに至った。未知の中国についてのこうした探究は、単なる学術的活動にとどまらず、政治的な機能があり、一連の事業を通じて蓄積されてきた情報により、イギリスはアヘン戦争の際に有利な立場に置かれていたといえる。

宣教師としては、聖書漢訳事業や宣教活動のために中国語や中国に関する知識を身につけるという宗教的責務に加えて、イギリスの臣民として現地当局の必要に応じることにより、情報の収集と体系化において開拓者の役割を果たすことができた。また、専門的知識を持つがゆえに、その後、欧米のアカデミックな場における初めての中国学教授職も宣教師出身者が占めるに至った。

以上のような歴史的経緯から、英語による中国関連の知識構築において、プロテスタント宣教師が極めて重要な役割を担うことになったのである。